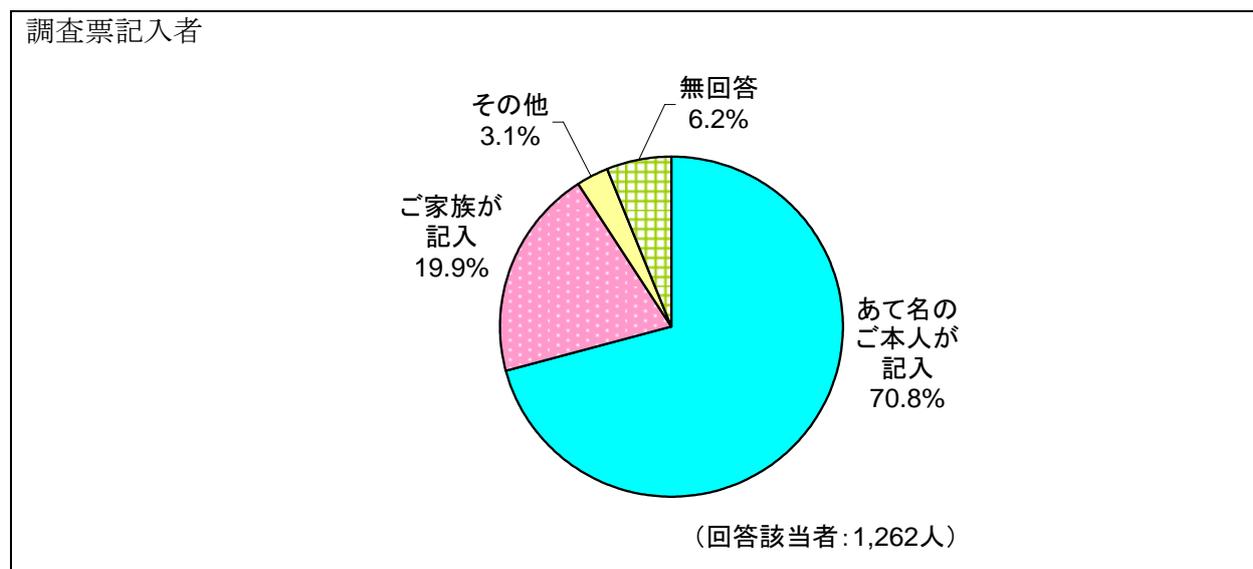


Ⅱ 調査結果①【各設問の回答状況】

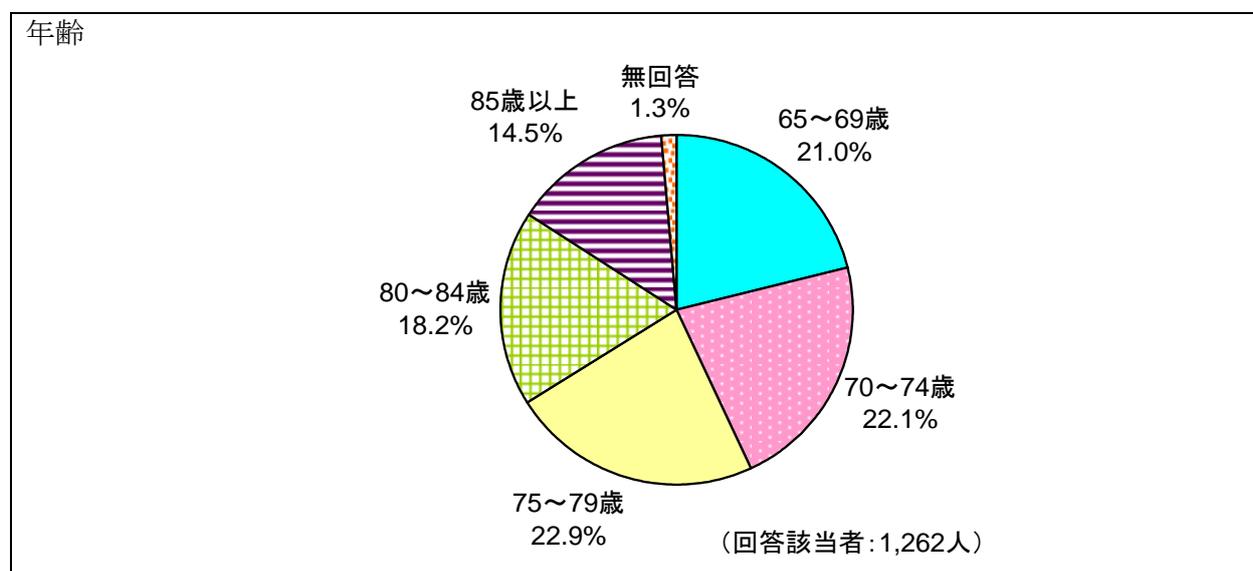
1 調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者



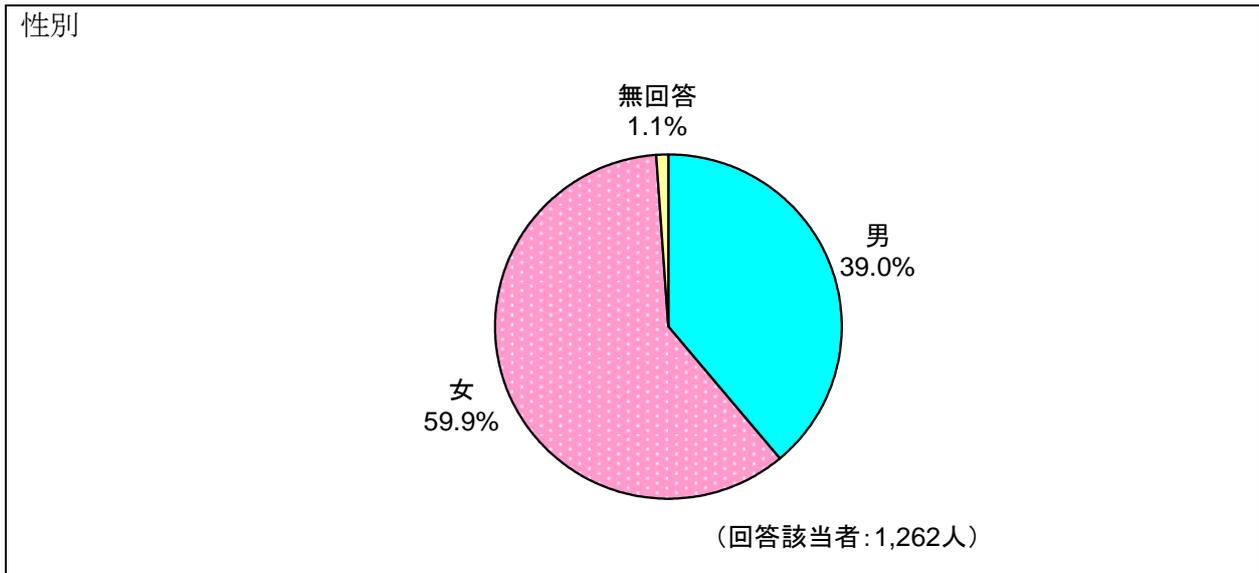
調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が70.8%で過半数を占めているほか、「ご家族が記入」が19.9%となっている。

(2) 年齢



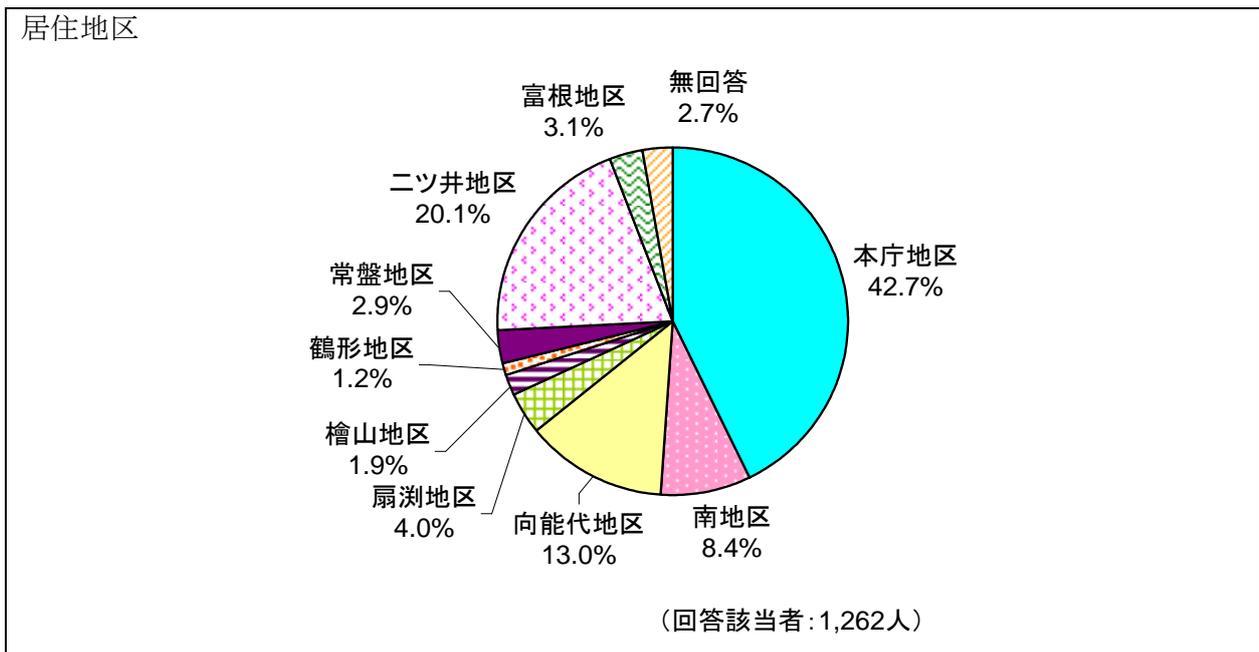
年齢は、「70～74歳」が22.1%で最も多く、以下、「65～69歳」(21.0%)、「75～79歳」(22.9%)、「80～84歳」(18.2%)、「85歳以上」(14.5%)と続いている。

(3) 性別



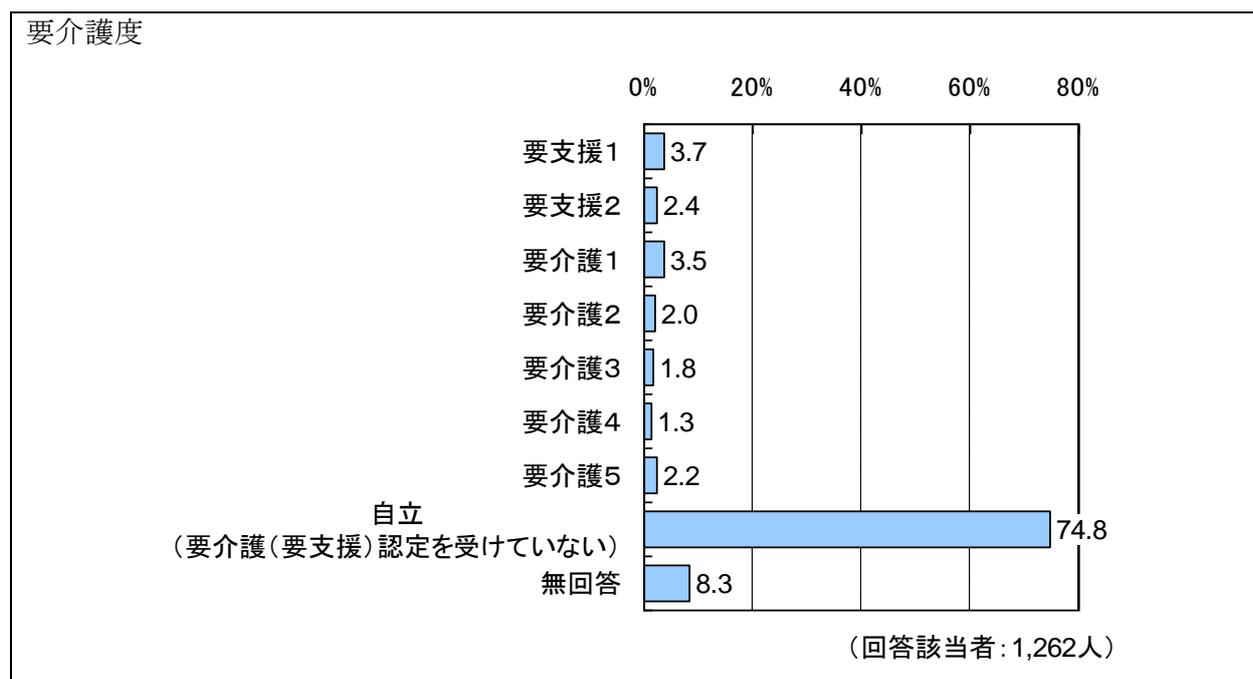
性別は、「男」が39.0%、「女」が59.9%で、「女」の割合が「男」の割合を上回っている。

(4) 居住地区



居住地区は、「本庁地区」が42.7%で最も多く、以下、「ニツ井地区」(20.1%)、「向能代地区」(13.0%)、「南地区」(8.4%)、「扇淵地区」(4.0%)、「富根地区」(3.1%)、「常盤地区」(2.9%)、「檜山地区」(1.9%)、「鶴形地区」(1.2%)の順となっている。

(5) 要介護度



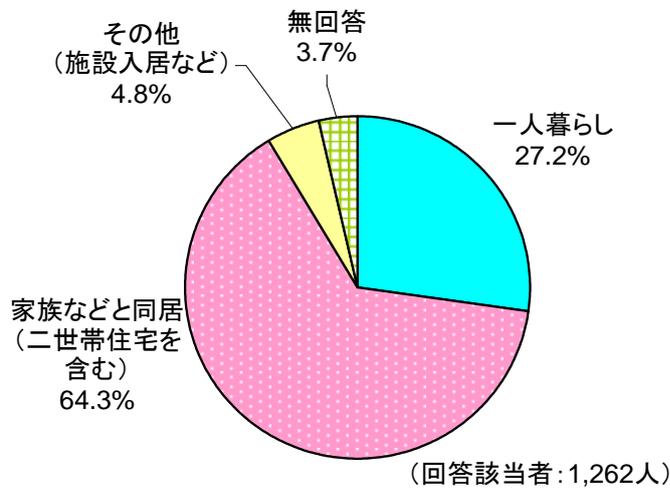
要介護度は、「要支援1」が3.7%で最も多く、以下、「要介護1」(3.5%)、「要支援2」(2.4%)、「要介護5」(2.2%)、「要介護2」(2.0%)、「要介護3」(1.8%)、「要介護4」(1.3%)と続いている。

なお、74.8%は「自立(要介護(要支援)認定を受けていない)」であることが分かる。

2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

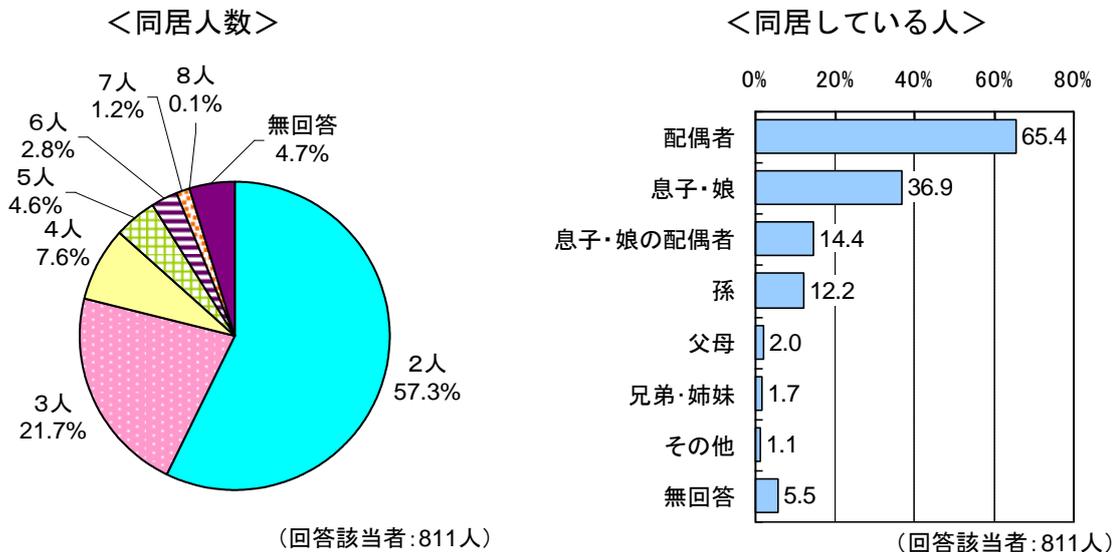
問1 家族構成をお教えてください。(1つ)



家族構成については、「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が64.3%で圧倒的に多く、以下、「一人暮らし」が27.2%、「その他 (施設入居など)」が4.8%となっている。

(2) 同居人数と同居者

問1-1 問1で「2. 家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」とお答えの方にお聞きします。ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(いくつでも)

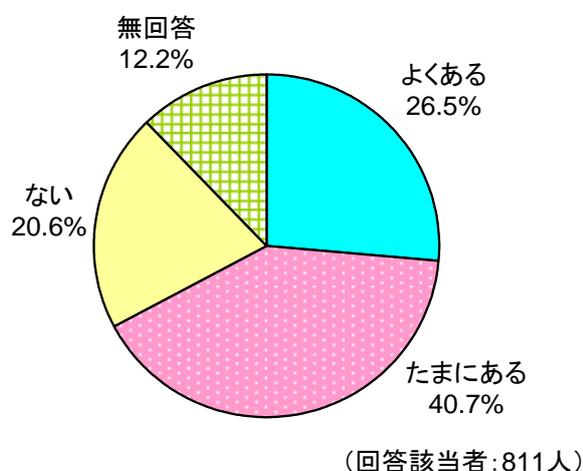


問1で「2. 家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」と回答した811人に、同居人数及び誰と同居しているかを尋ねたところ、同居人数については「2人」が57.3%で最も多く、以下、「3人」(21.7%)、「4人」(7.6%)、「5人」(4.6%)、「6人」(2.8%)などと続き、同居人数は多くなるにつれて構成比は少なくなっている。

同居している人については、「配偶者」が65.4%で最も多く、以下、「息子・娘」(36.9%)、「息子・娘の配偶者」(14.4%)、「孫」(12.2%)などが多くなっている。

(3) 日中の生活状況

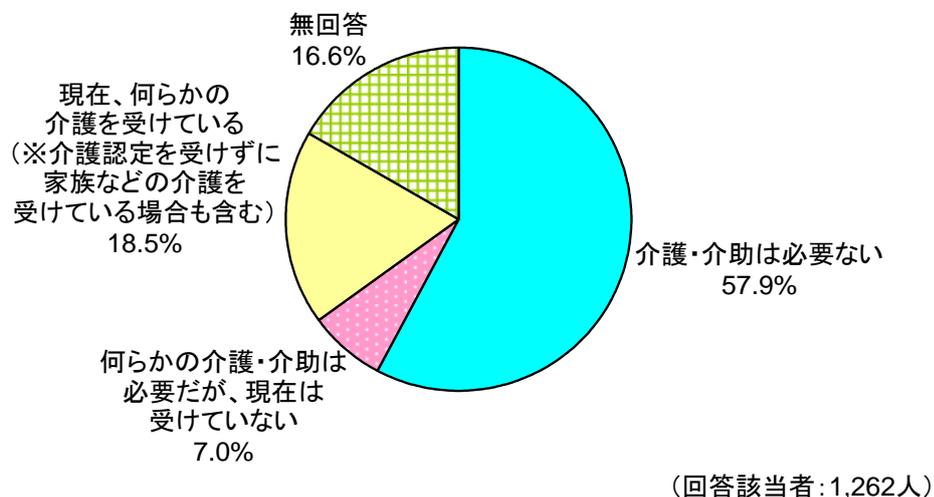
問1-2 問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」とお答えの方にお聞きします。
日中、あなた一人になることがありますか（1つ）



問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」と回答した811人に、日中あなた一人になることがあるか尋ねたところ、「たまにある」が40.7%で最も多く、以下、「よくある」が26.5%、「ない」が20.6%と続いている。

(4) 介護・介助の必要性

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つ）

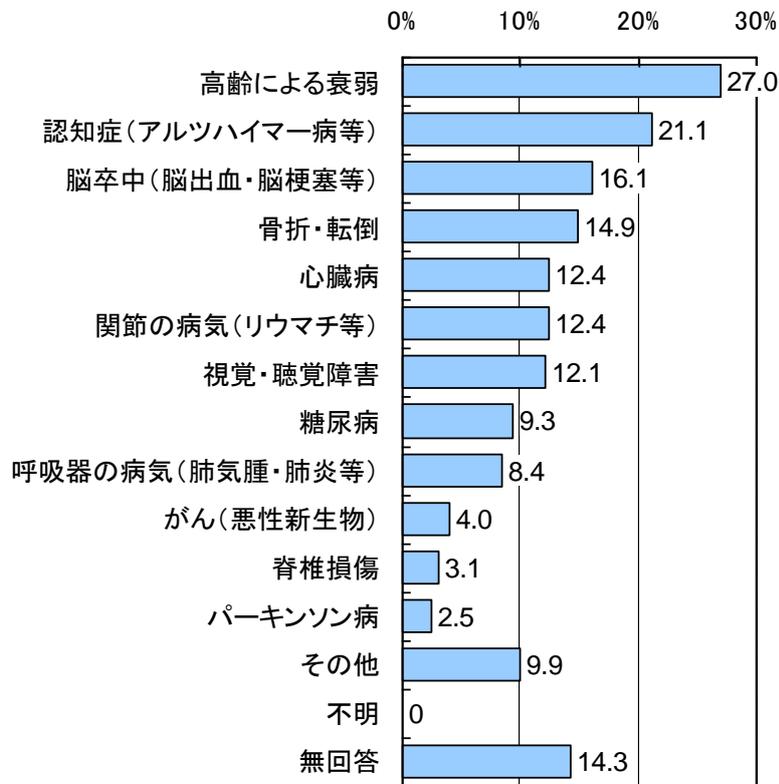


普段の生活で介護・介助が必要かでは、「介護・介助は必要ない」が57.9%と過半数を占めて最も多くなっており、以下、「現在、何らかの介護を受けている（※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が18.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.0%となっている。

(5) 介護・介助が必要になった主な原因

問2-1 問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

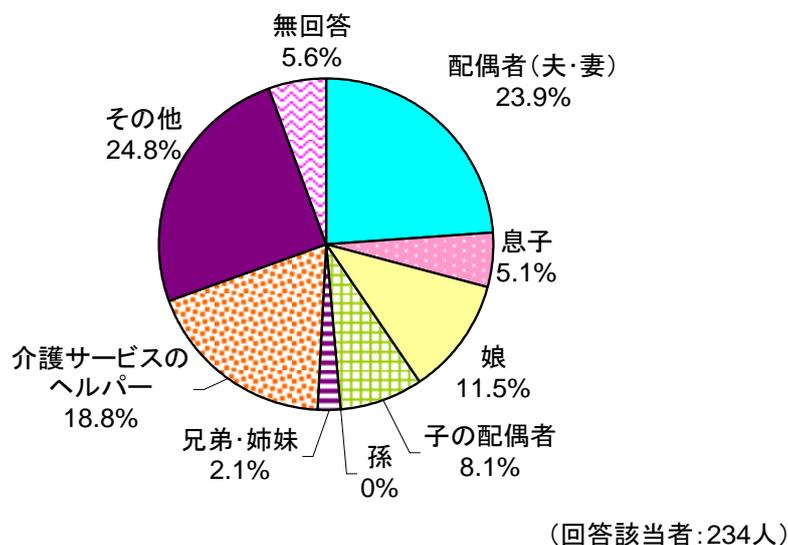


(回答該当者:322人)

問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した322人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が27.0%で最も多く、以下、「認知症(アルツハイマー病等)」(21.1%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.1%)、「骨折・転倒」(14.9%)、「心臓病」、「関節の病気(リウマチ等)」(いずれも12.4%)、「視覚・聴覚障害」(12.1%)、「糖尿病」(9.3%)、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」(8.4%)などが比較的多く挙げられている。

(6) 主な介護者

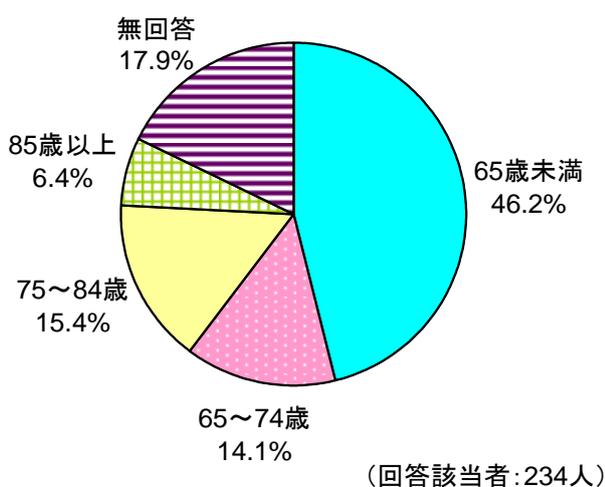
問2-2 問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つ)



問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した234人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が23.9%で最も多く、以下、「介護サービスのヘルパー」(18.8%)、「娘」(11.5%)、「子の配偶者」(8.1%)、「息子」(5.1%)、「兄弟・姉妹」(2.1%)と続いている。なお、24.8%を占める「その他」については、施設職員あるいは施設、グループホームなどの回答が多くみられた。

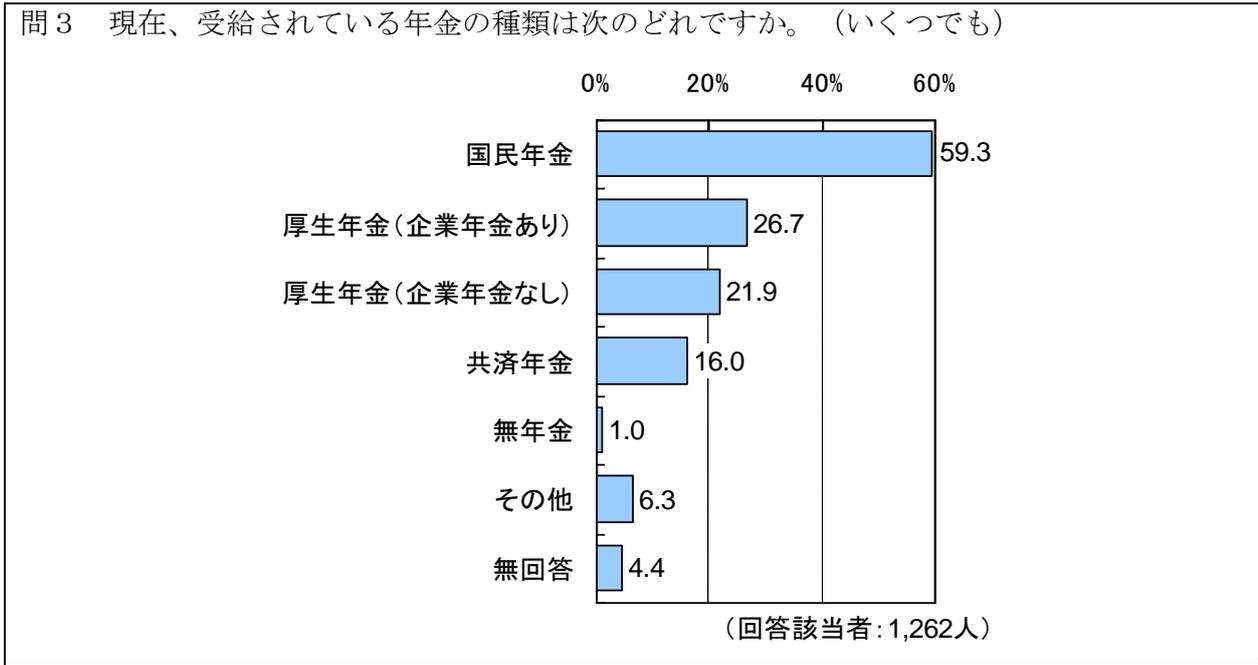
(7) 主な介護者の年齢

問2-3 問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(1つ)



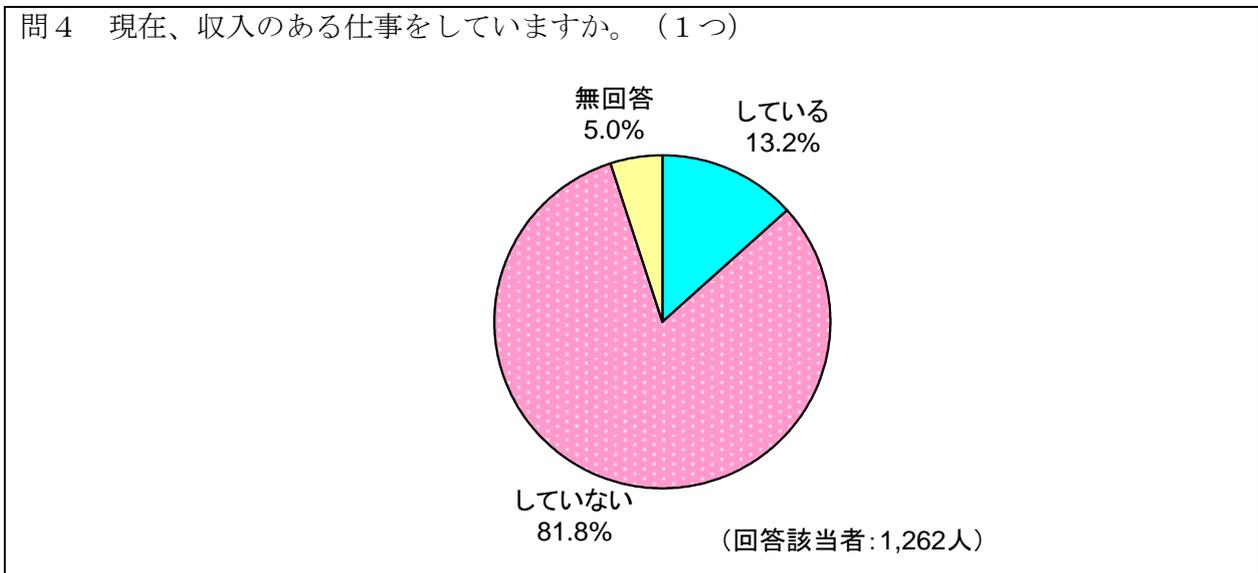
問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した234人に、主な介護者・介助者の年齢を尋ねたところ、「65歳未満」が46.2%で最も多く、以下、「75～84歳」(15.4%)、「65～74歳」(14.1%)、「85歳以上」(6.4%)と続いている。このことから、高齢者が高齢者を介護・介助している割合は、3割以上を占めていることが分かる。

(8) 年金の種類



年金の種類については、「国民年金」が59.3%で最も多く、以下、「厚生年金（企業年金あり）」（26.7%）、「厚生年金（企業年金なし）」（21.9%）、「共済年金」（16.0%）などとなっている。また、1.0%は、「無年金」と回答している。

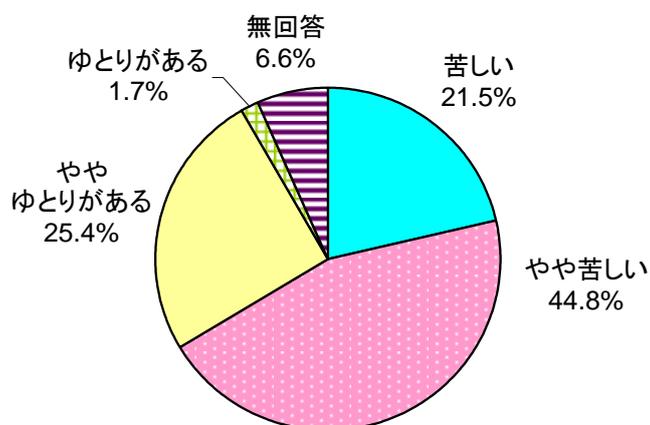
(9) 就労状況



現在、収入のある仕事をしているかについては、「していない」が81.8%で圧倒的に多く、「している」は13.2%となっている。

(10) 現在の暮らしの状況

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つ)

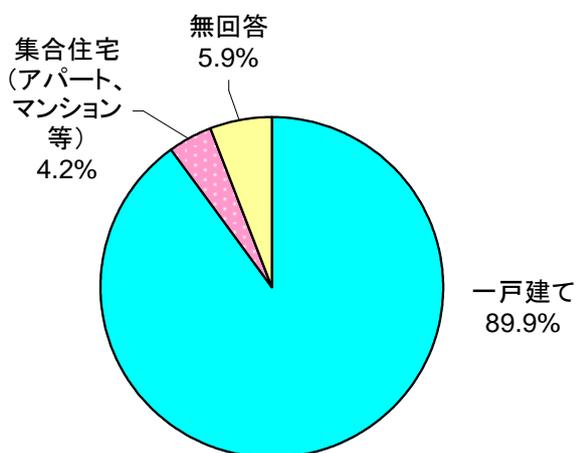


(回答該当者:1,262人)

現在の暮らしの状況では、「やや苦しい」が44.8%で最も多く、以下、「ややゆとりがある」(25.4%)、「苦しい」(21.5%)、「ゆとりがある」(1.7%)となっている。大別して、生活が苦しいと感じる割合(「やや苦しい」及び「苦しい」の合計)は66.3%で、生活にゆとりがあると感じる割合(「ゆとりがある」及び「ややゆとりがある」及びの合計)の27.1%を大きく上回っている。

(11) 住居の形態

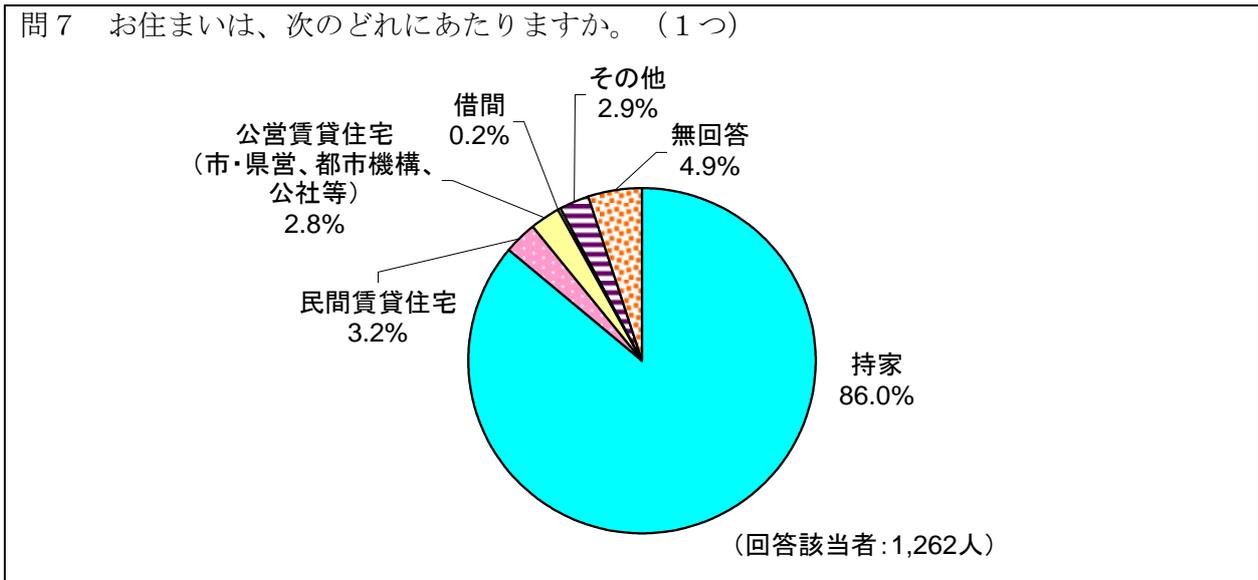
問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つ)



(回答該当者:1,262人)

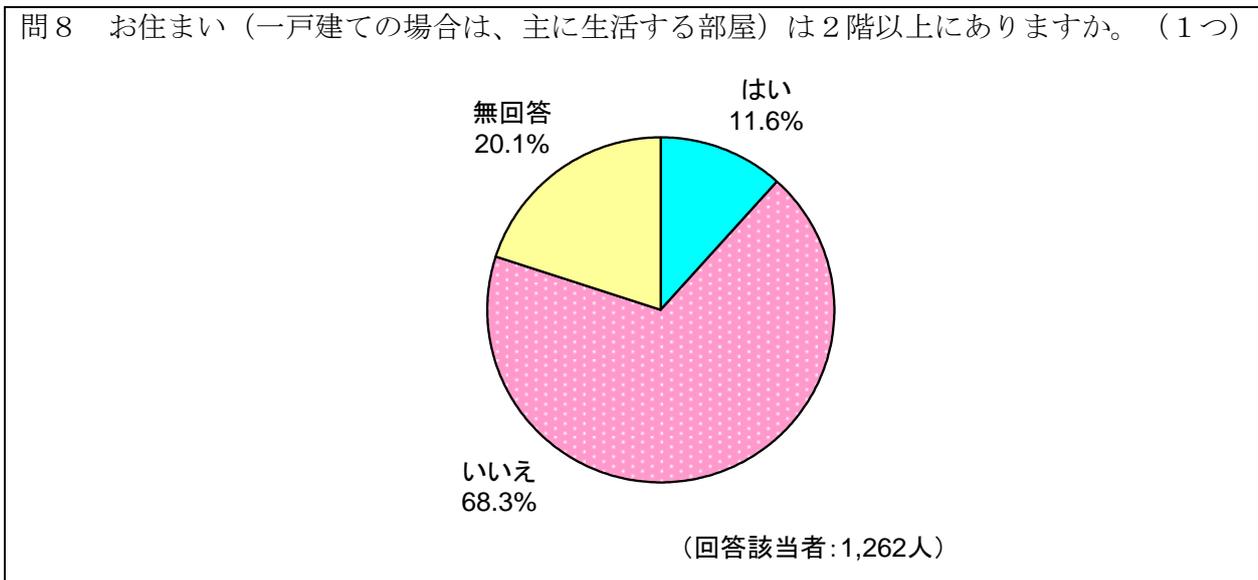
一戸建てか集合住宅かについては、「一戸建て」が89.9%と大半を占め、「集合住宅(アパート、マンション等)」は4.2%となっている。

(12) 住居の所有・賃貸の状況



住居の所有・賃貸の状況については、「持家」が86.0%と圧倒的に多く、以下、「民間賃貸住宅」(3.2%)、「公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)」(2.8%)、「借間」(0.2%)などと続いている。

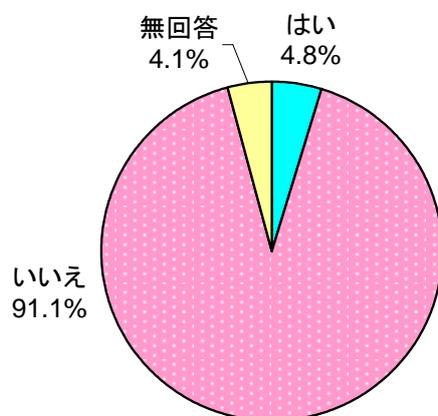
(13) 住まいは2階以上にあるか



住まい(一戸建ての場合は、主に生活する部屋)が2階以上かどうかでは、11.6%が「はい」と回答している。

(14) 2階建て以上の住居のエレベーター設置の有無

問8-1 問8で「1. はい」と答えた方（2階以上の方）にお聞きします。
お住まいにエレベーターは設置されていますか。（1つ）



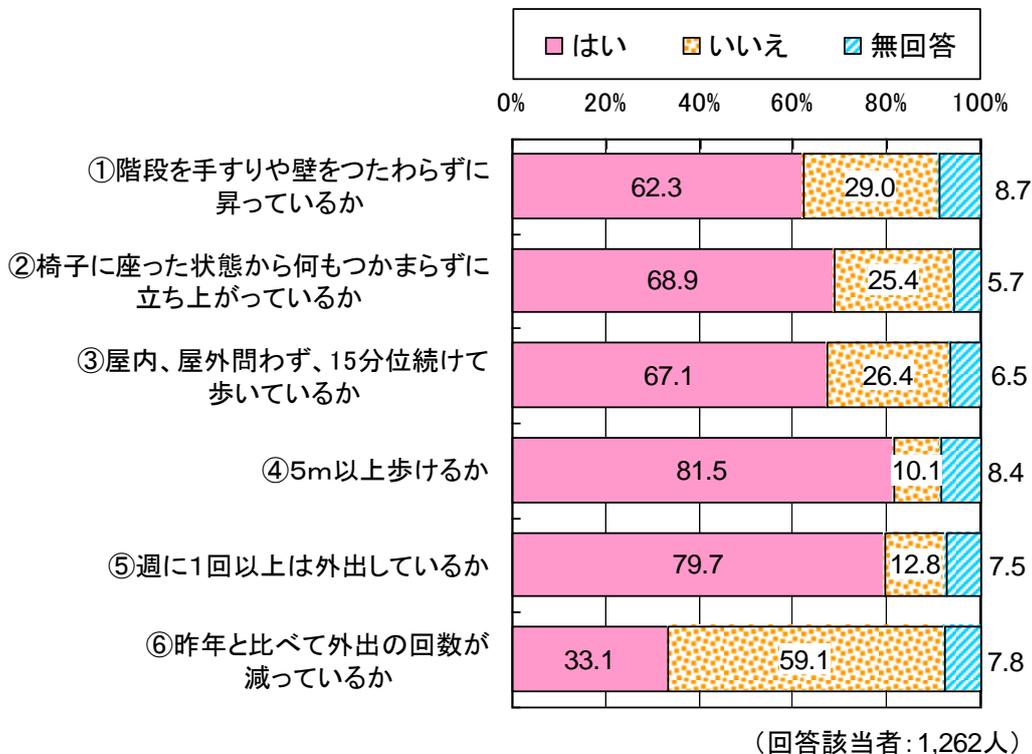
(回答該当者:146人)

問8で住まい（一戸建ての場合は、主に生活する部屋）が2階以上であると回答した146人に、エレベーターの設置状況を尋ねたところ、「はい」が4.8%であるのに対し、「いいえ」が91.1%と圧倒的に多くを占めている。

3 運動・閉じこもりについて

(1) 日常生活動作

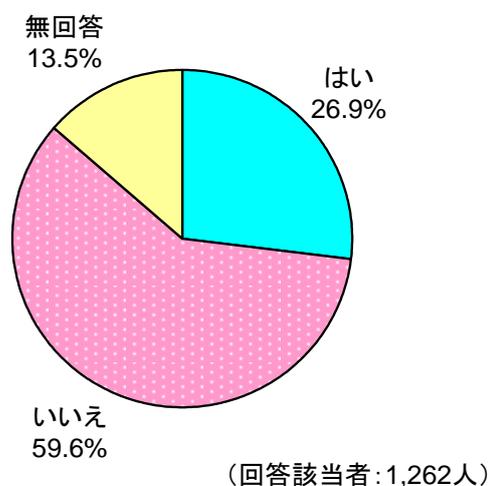
問9 日常の生活動作についてうかがいます。(それぞれ1つ)



日常生活動作に関する各項目のチェック該当割合は、「⑥昨年と比べて外出の回数が減っているか」が33.1%（「はい」）で最も高く、以下、「①階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか」（29.0%：「いいえ」）、「③屋内、屋外を問わず、15分位続けて歩いているか」（26.4%：「いいえ」）、「②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか」（25.4%：「いいえ」）、「⑤週に1回以上は外出しているか」（12.8%：「いいえ」）、「④5 m以上歩けるか」（10.1%：「いいえ」）の順となっている。

(2) 外出を控えているか

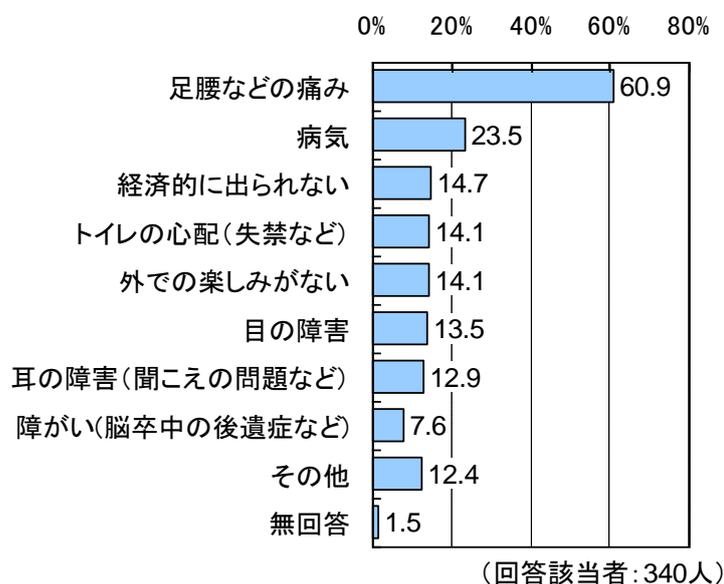
問10 外出を控えていますか。(1つ)



外出を控えているか尋ねたところ、「いいえ」が59.6%と過半数を占め、「はい」の26.9%を上回っている。

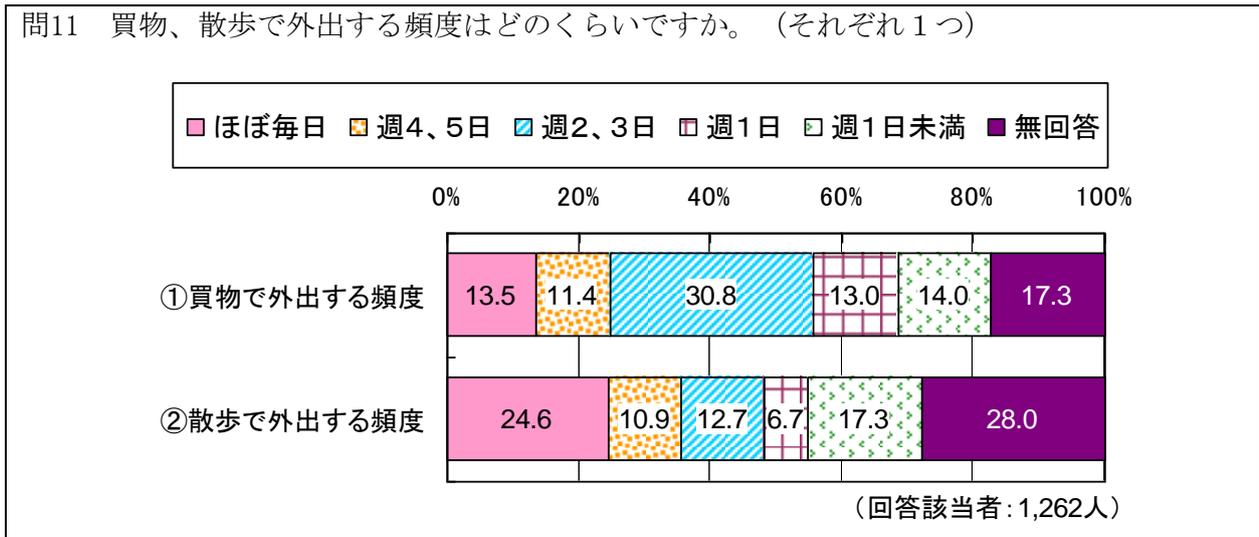
(3) 外出を控える理由

問10-1 問10で「1. はい」と答えた方(外出を控えている方)にお聞きします。
外出を控える理由は、次のどれですか。(いくつでも)



問10で外出を控えていると回答した340人に、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が60.9%で最も多く、以下、「病気」(23.5%)、「経済的に出られない」(14.7%)、「トイレの心配(失禁など)」、「外での楽しみがない」(いずれも14.1%)、「目の障害」(13.5%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(12.9%)、「障がい(脳卒中の後遺症など)」(7.6%)となっている。また、「その他」については、歩行が困難、体力の衰えや疲れ、自分の意思、家族の介護をしているためなどの内容がみられた。

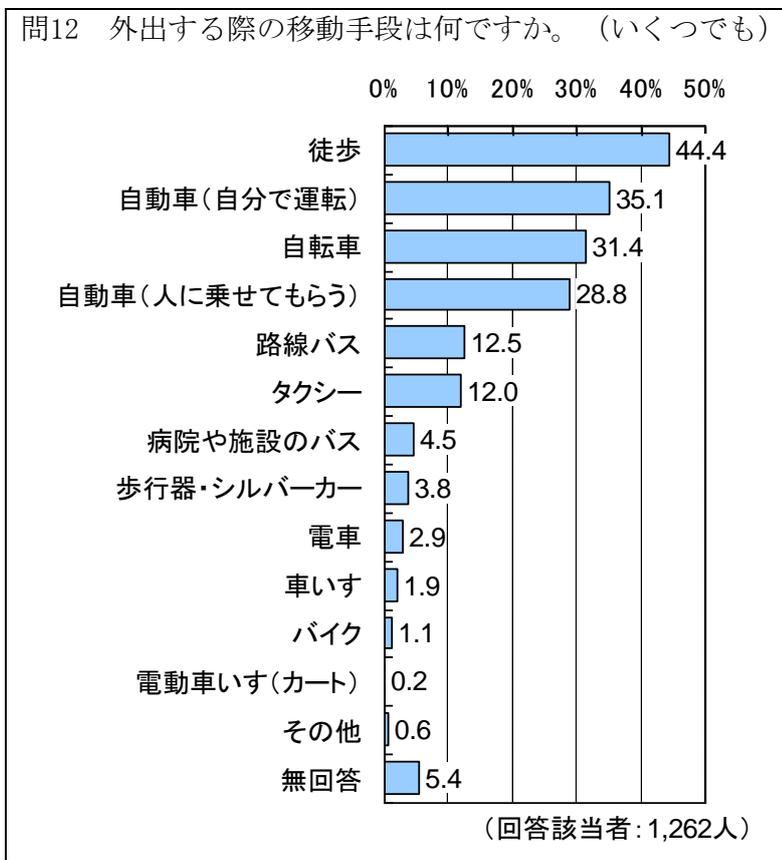
(4) 外出の頻度



外出の頻度については、「①買物で外出する頻度」は「週2、3日」が30.8%で最も多く、以下、「週1日未満」(14.0%)、「ほぼ毎日」(13.5%)、「週1日」(13.0%)などの順となっている。

また、「②散歩で外出する頻度」は「ほぼ毎日」が24.6%で最も多く、以下、「週1日未満」(17.3%)、「週2、3日」(12.7%)などが多くなっている。

(5) 外出する際の移動手段

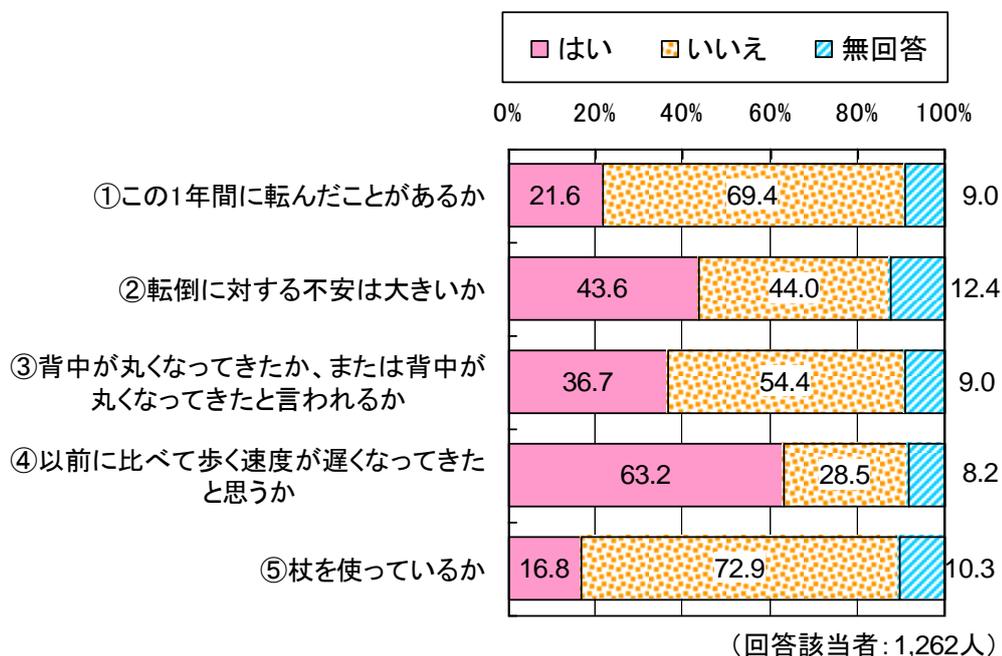


外出する際の移動手段については、「徒歩」が44.4%で最も多く、以下、「自動車(自分で運転)」(35.1%)、「自転車」(31.4%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(28.8%)、「路線バス」(12.5%)、「タクシー」(12.0%)などが比較的多く挙げられている。

4 転倒予防について

(1) 転倒予防に関すること

問13 転倒予防についてうかがいます。(それぞれ1つ)

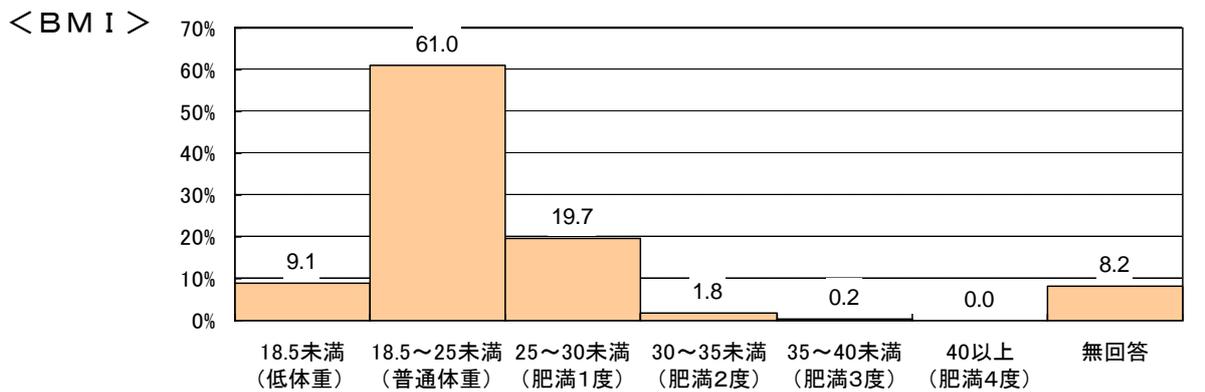
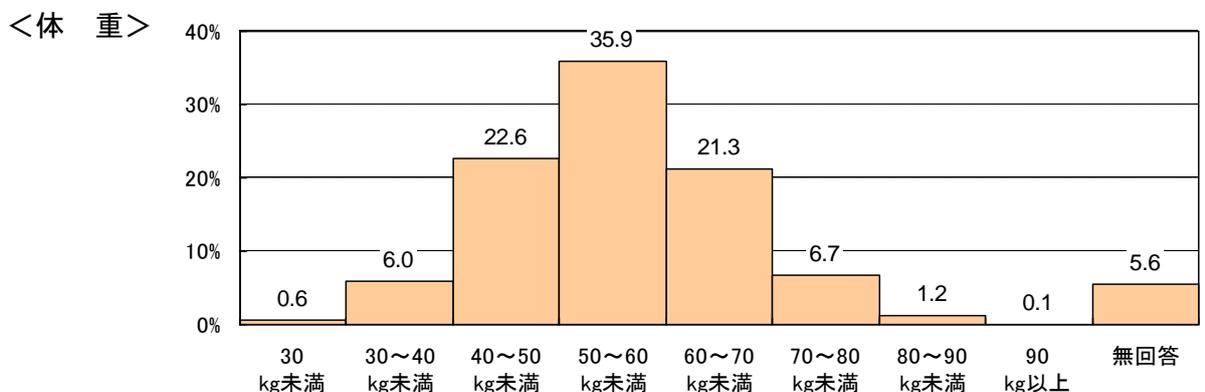
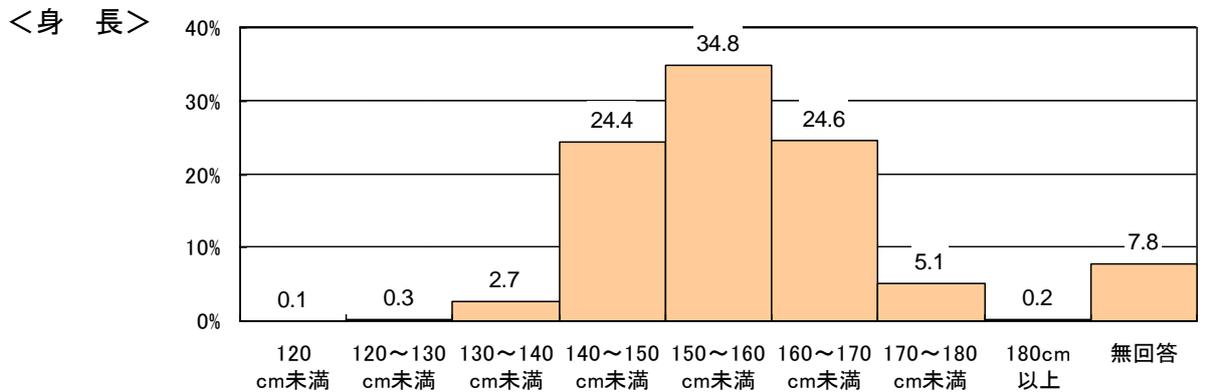


転倒予防に関する各項目のチェック該当（いずれも「はい」）割合は、「④以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか」が63.2%で最も高く、以下、「②転倒に対する不安は大きいか」（43.6%）、「③背中が丸くなってきたか、または背中が丸くなってきたと言われるか」（36.7%）、「①この1年間に転んだことがあるか」（21.6%）、「⑤杖を使っているか」（16.8%）の順となっている。

5 口腔・栄養について

(1) 本人の身長・体重・BMI

問14 ご本人の身長、体重をお答えください。



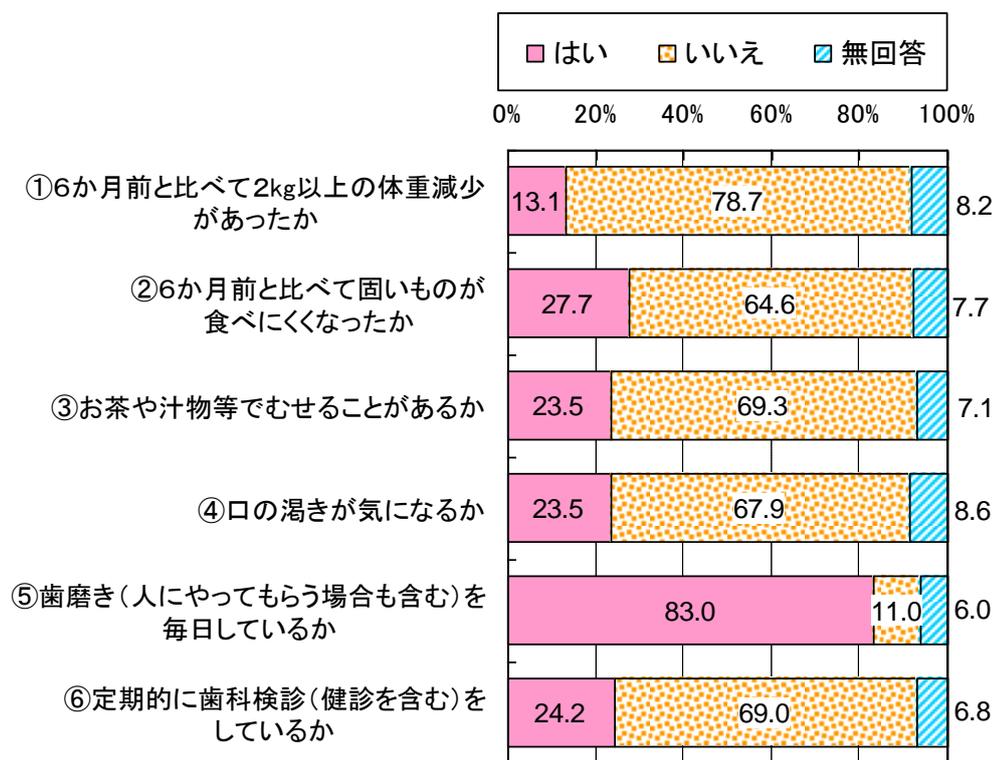
身長は、「150～160cm未満」が34.8%で最も多く、以下、「160～170cm未満」(24.6%)、「140～150cm未満」(24.4%)などと続いている。

また、体重は、「50～60kg」が35.9%で最も多く、以下、「40～50kg未満」(22.6%)、「60～70kg未満」(21.3%)、「70～80kg未満」(6.7%)などと続いている。

さらに、BMIについては、「18.5～25未満(普通体重)」が61.0%で最も多く、以下、「25～30未満(肥満1度)」(19.7%)、「18.5未満(低体重)」(9.1%)、「30～35未満(肥満2度)」(1.8%)などと続いている。

(2) 口腔・栄養

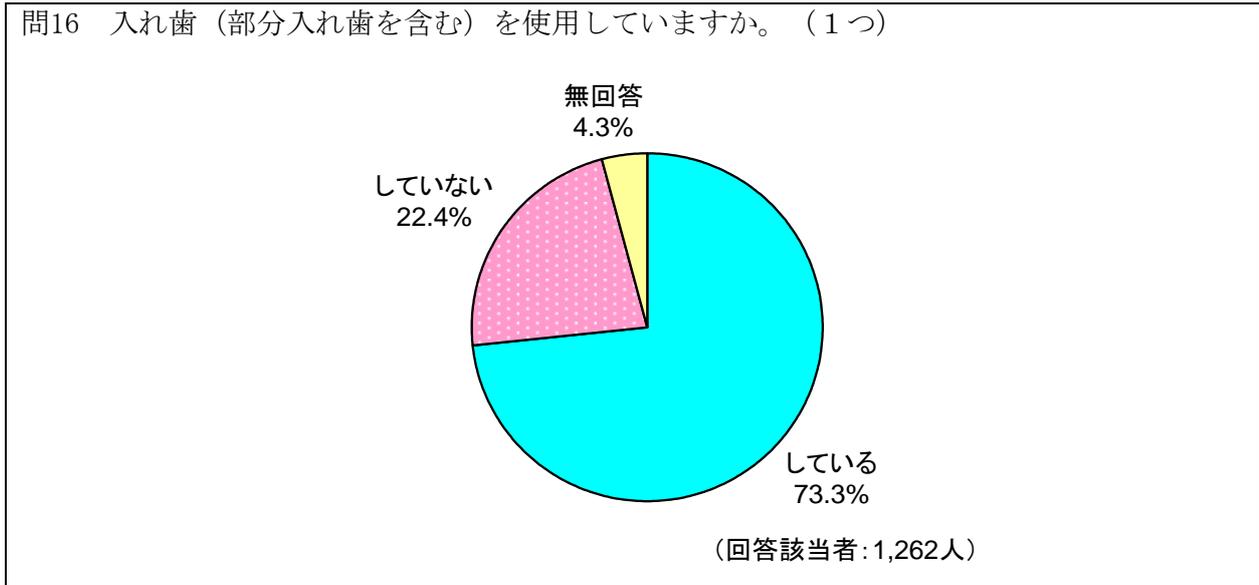
問15 口腔・栄養についてうかがいます。(それぞれ1つ)



(回答該当者: 1,262人)

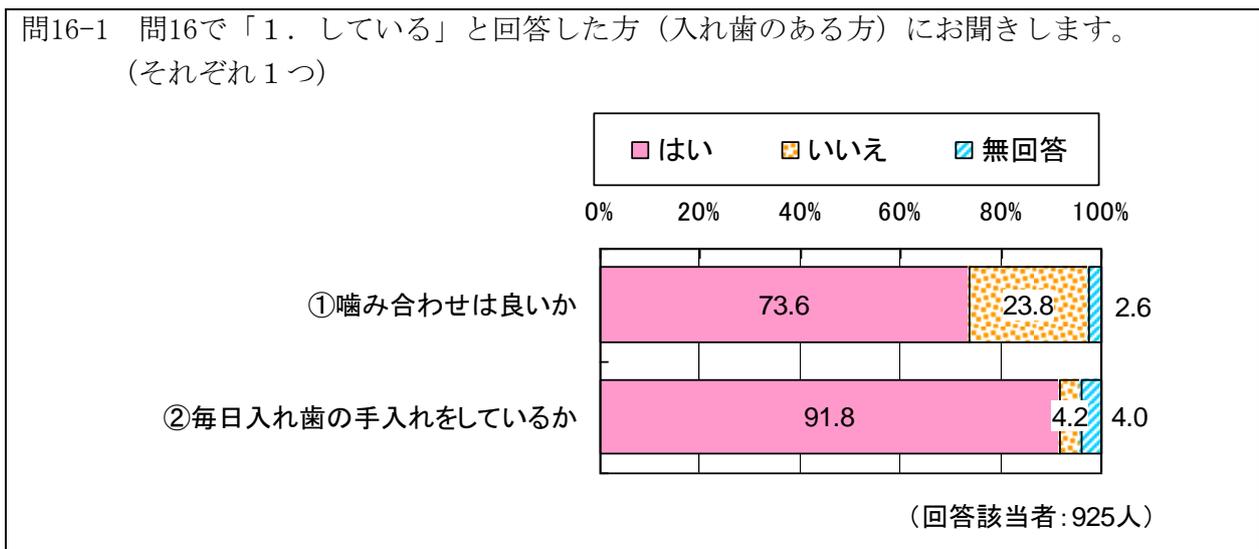
口腔・栄養に関する各項目のチェック該当割合は、「⑥定期的に歯科検診(健診を含む)をしているか」が69.0% (「いいえ」) で最も高く、以下、「②6か月前と比べて固いものが食べにくくなったか」(27.7%: 「はい」)、 「③お茶や汁物等でむせることがあるか」、 「④口の渇きが気になるか」(いずれも23.5%: いずれも「はい」)、 「①6か月前と比べて2kg以上の体重減少があったか」(13.1%: 「はい」)、 「⑤歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているか」(11.0%: 「いいえ」)の順となっている。

(3) 入れ歯の有無



入れ歯（部分入れ歯を含む）をしているかでは、「している」が73.3%を占めている。

(4) 入れ歯について

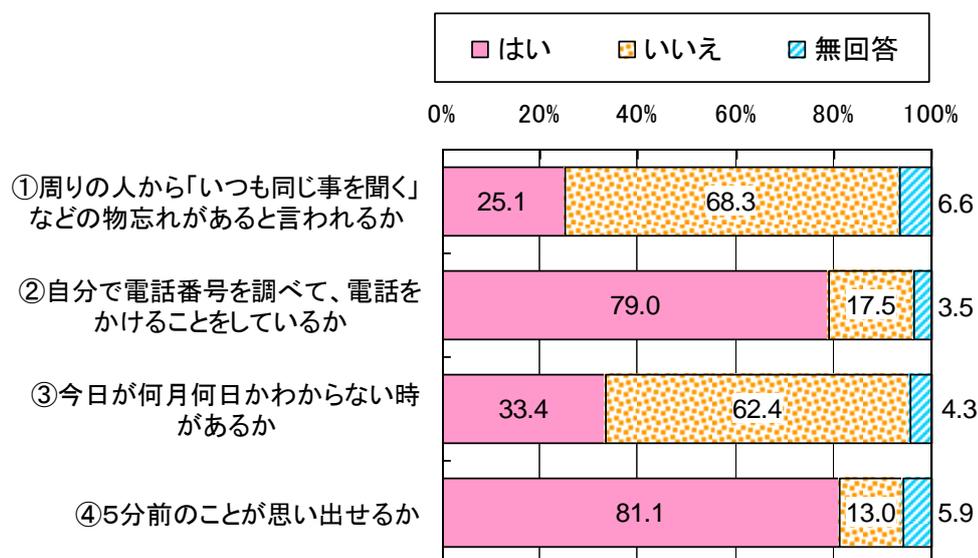


問16で入れ歯（部分入れ歯を含む）をしていると回答した925人に、入れ歯に関することについて尋ねたところ、「①噛み合わせはよいか」では、「はい」が73.6%、「②毎日入れ歯の手入れをしているか」では、「はい」が91.8%をそれぞれ占めている。

6 物忘れについて

(1) 物忘れ

問17 物忘れについてうかがいます。(それぞれ1つ)

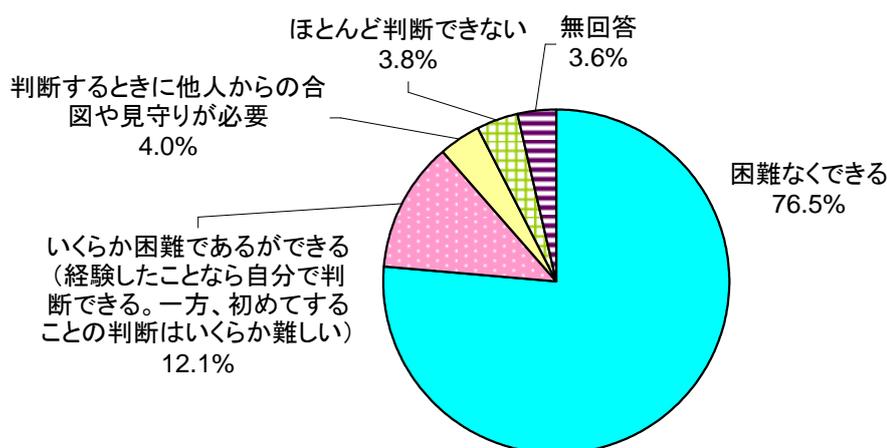


(回答該当者:1,262人)

物忘れに関する各項目のチェック該当割合は、「③今日が何月何日かわからない時があるか」が33.4%（「はい」）で最も多く、以下、「①周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされるか」（25.1%：「はい」）、「②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか」（17.5%：「いいえ」）、「④5分前のことが思い出せるか」（13.0%：「いいえ」）の順となっている。

(2) 判断能力

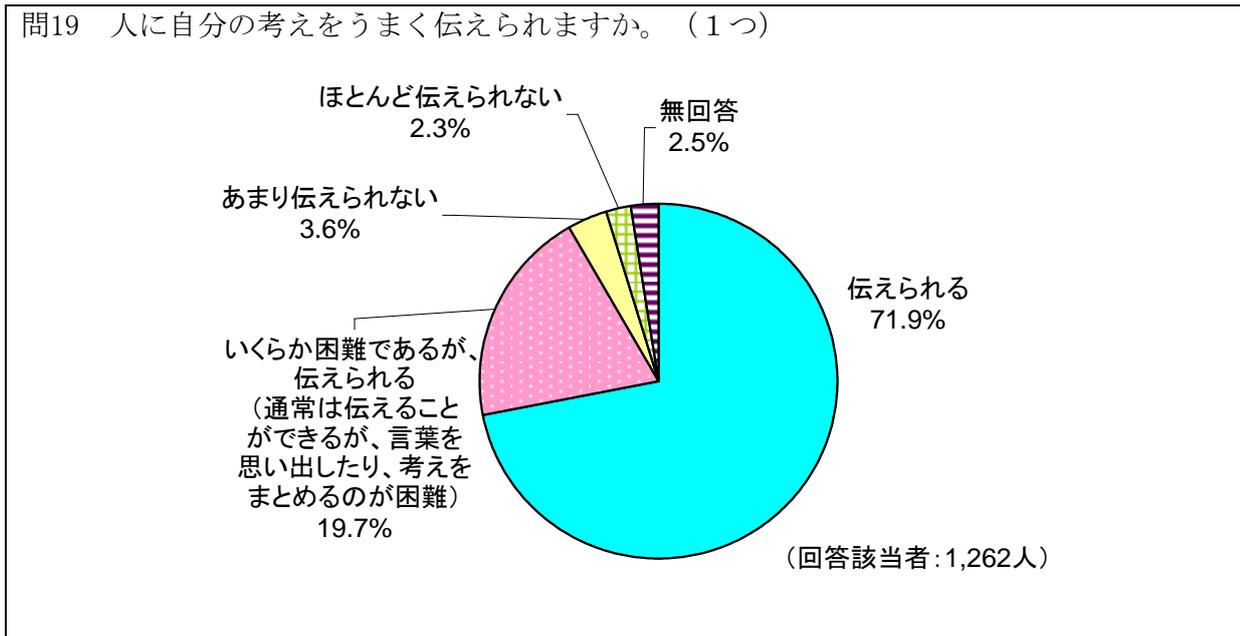
問18 その日の行動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（1つ）



(回答該当者:1,262人)

その日の行動を自分で判断できるかでは、「困難なくできる」が76.5%で最も多く、以下、「いくらか困難であるができる (経験したことなら自分で判断できる。一方、初めてすることの判断はいくらか難しい)」（12.1%）、「判断するときに他人からの合図や見守りが必要」（4.0%）、「ほとんど判断できない」（3.8%）となっている。

(3) 意思の伝達



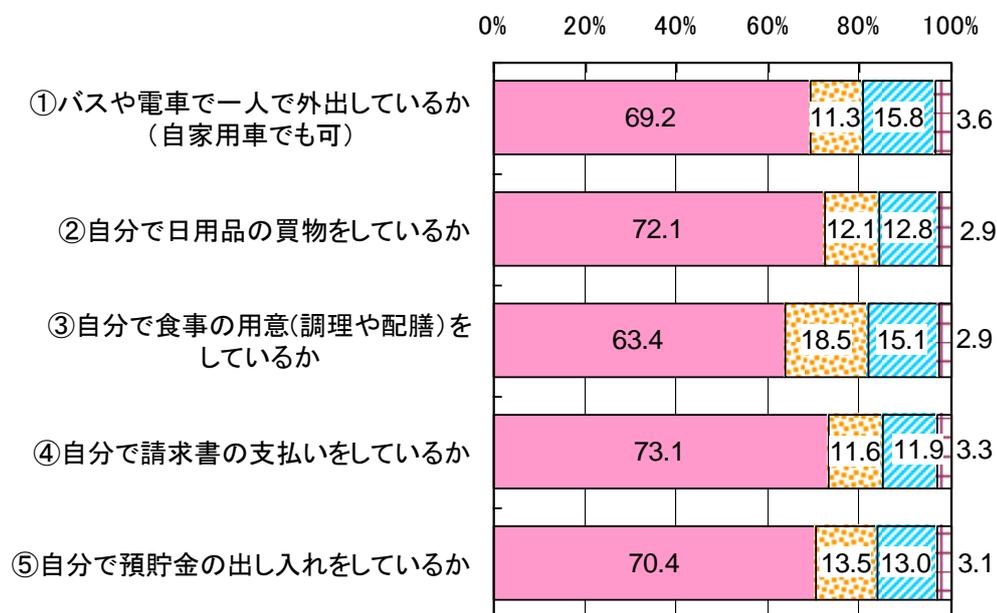
人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「伝えられる」が71.9%で最も多く、以下、「いくらか困難であるが、伝えられる (通常は伝えることができるが、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難)」が19.7%、「あまり伝えられない」が3.6%、「ほとんど伝えられない」が2.3%となっている。

7 日常生活について

(1) 日常生活の状況①

問20 日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)

■ できるし、している ■ できるけどしていない ■ できない □ 無回答

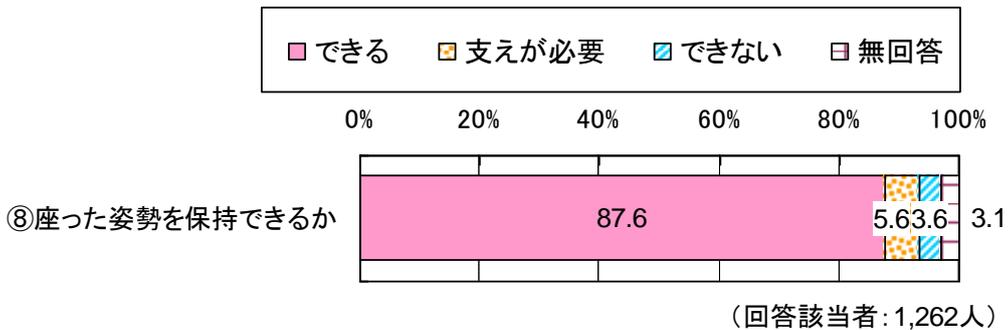
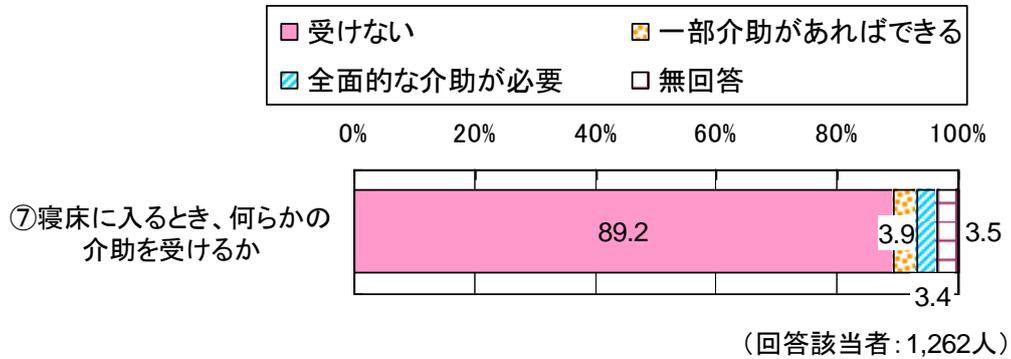
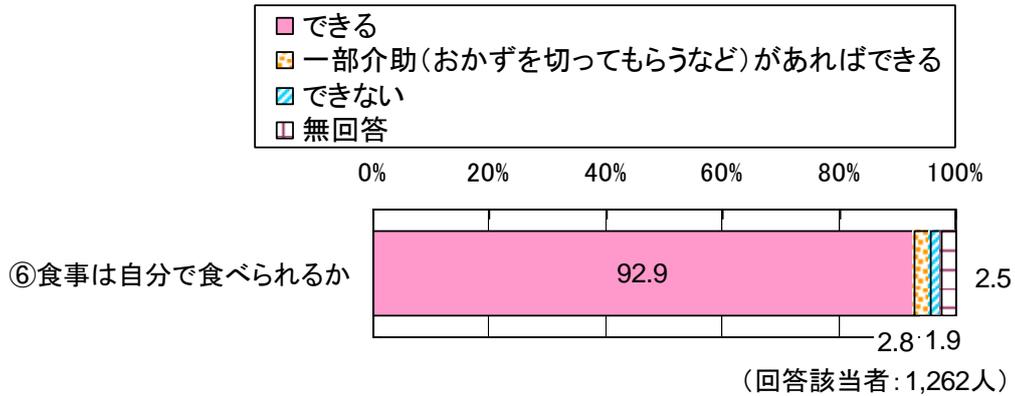


(回答該当者: 1,262人)

日常生活における①から⑤までの各項目については、「できるし、している」の回答割合はいずれも6割以上となっている。その中で回答割合が最も高い項目は「④自分で請求書の支払いをしているか」で73.1%の数値を示している。逆に、回答割合の最も低い項目は「③自分で食事の用意(調理や配膳)をしているか」で63.4%であるものの、「できるけどしていない」の割合についても18.5%でひとときわ高くなっている。

(2) 日常生活の状況②

問20 日常生活についてうかがいます。(それぞれ1つ)

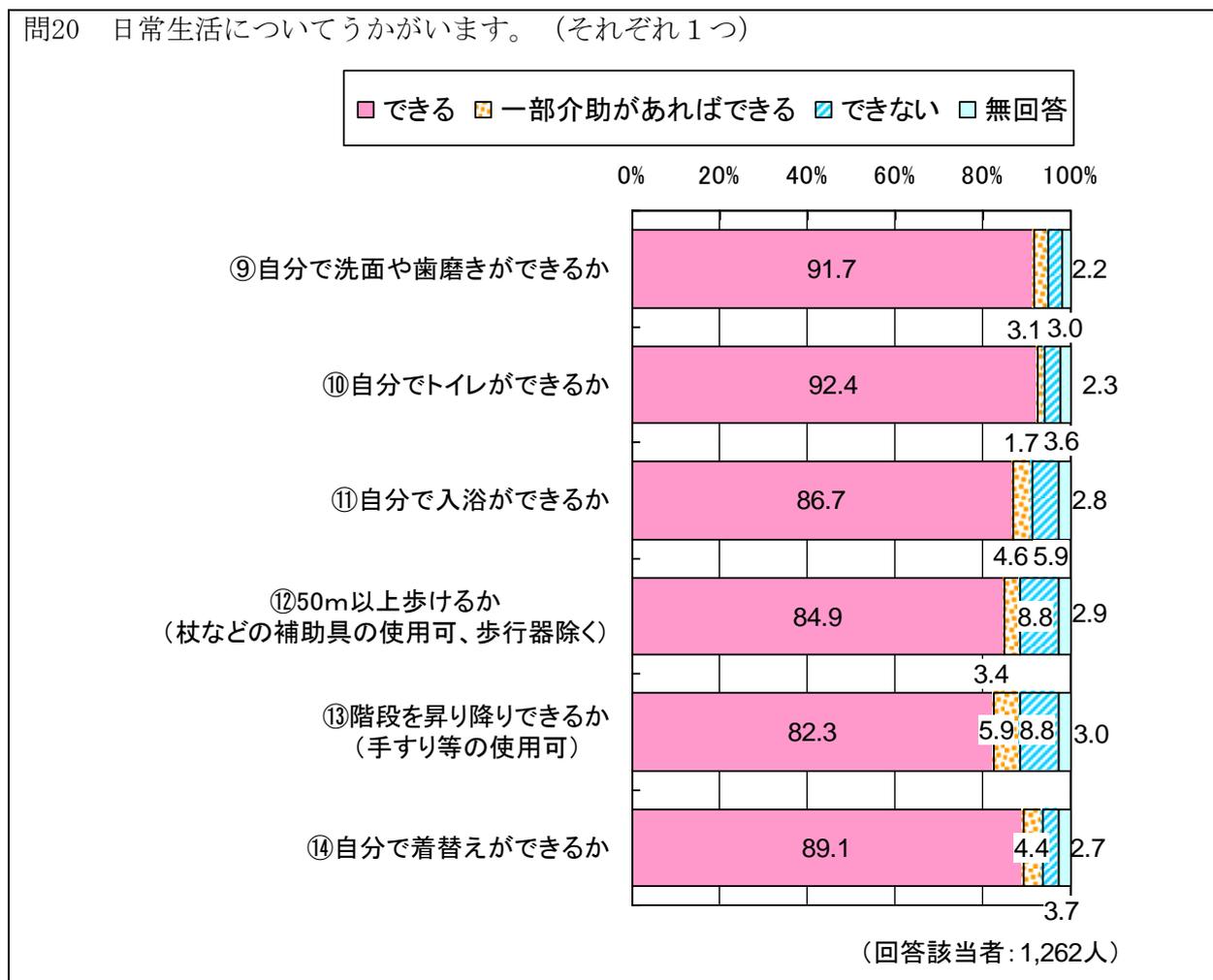


日常生活における⑥から⑧までの各項目について、「⑥食事は自分で食べられるか」では「できる」が92.9%、「一部介助(おかずを切ってもらなど)があればできる」が2.8%、「できない」が1.9%となっている。

「⑦寝床に入るとき、何らかの介助を受けるか」では、「受けない」が89.2%、「一部介助があればできる」が3.9%、「全面的な介助が必要」が3.4%となっている。

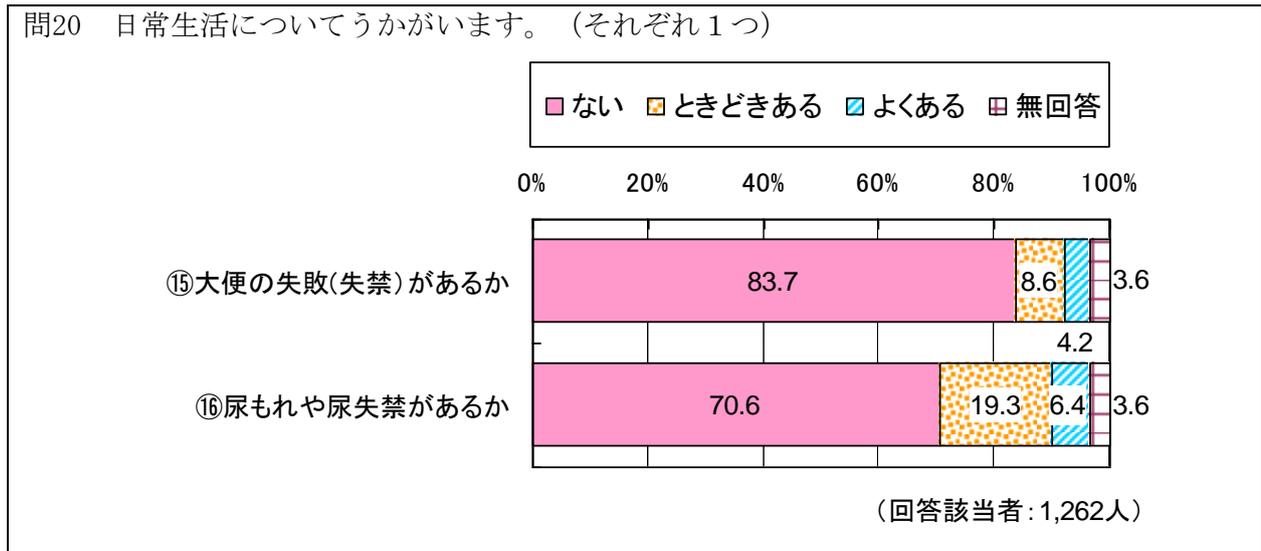
「⑧座った姿勢を保持できるか」では、「できる」が87.6%、「支えが必要」が5.6%、「できない」が3.6%となっている。

(3) 日常生活の状況③



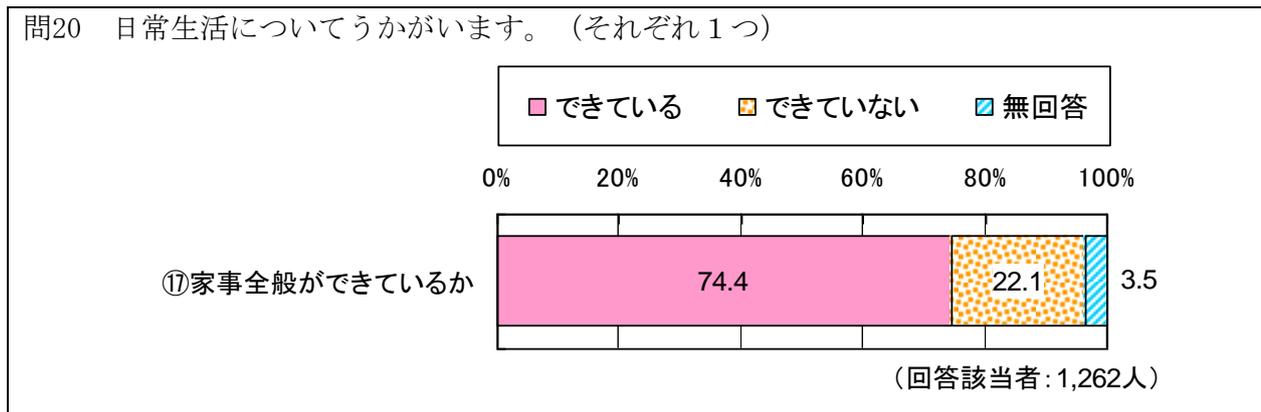
日常生活における⑨から⑭までの各項目については、いずれも「できる」の回答割合が8割以上を占めており、その中でも「⑩自分でトイレができるか」が92.4%と最も高い数値を示している。一方、「できない」割合については、「⑫50m以上歩けるか」、「⑬階段を昇り降りできるか」でいずれも8.8%で最も高くなっている。

(4) 日常生活の状況④



排便・排尿については、大便の失敗、小便の失敗いずれも、「ない」という回答割合が多くを占めており、前者で83.7%、後者では70.6%の数値を示している。

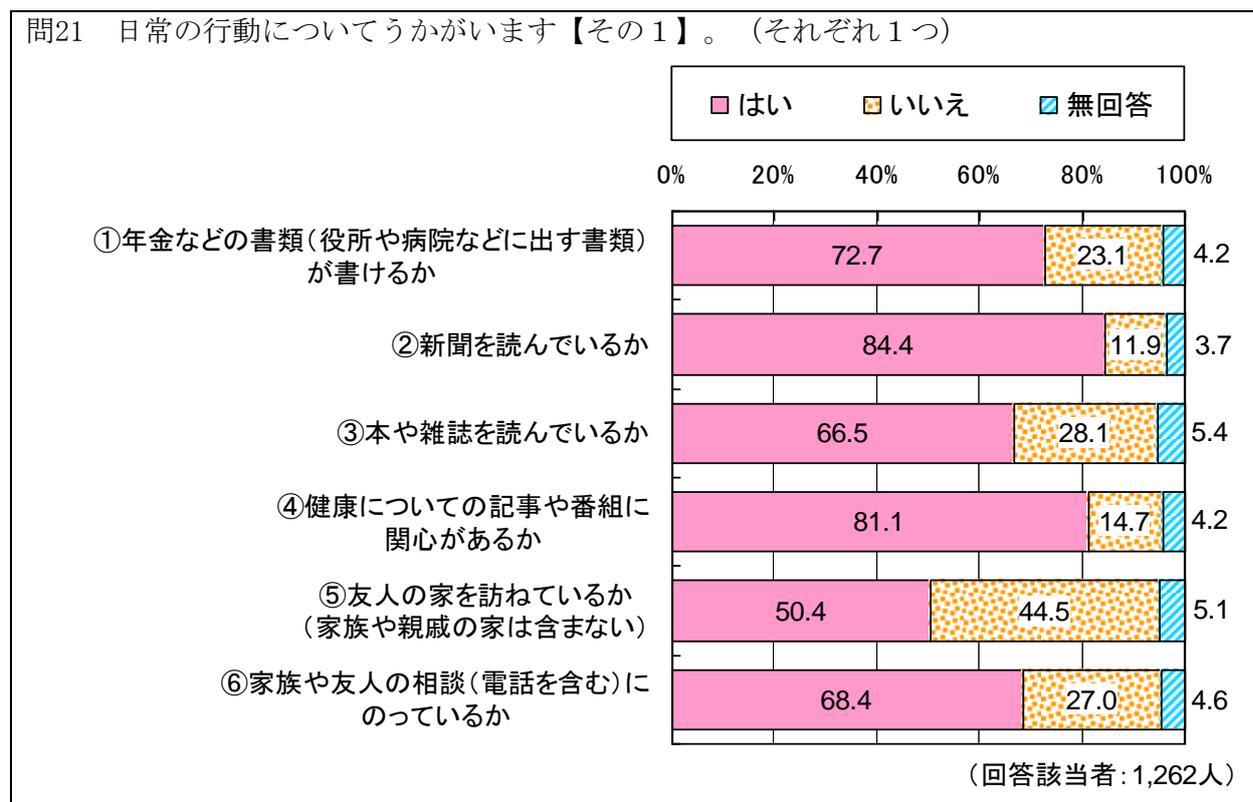
(5) 日常生活の状況⑤



日常生活において「⑰家事全般ができていますか」については、「できている」が74.4%、「できていない」が22.1%となっている。

8 社会参加について

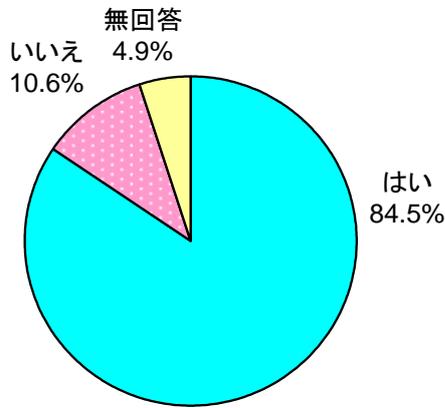
(1) 日常の行動について①



日常の行動に関する①から⑥までの各項目における「はい」の回答割合については、「②新聞を読んでいるか」(84.4%)、「④健康についての記事や番組に関心があるか」(81.1%)で特に高く、いずれも8割以上の数値を示している。以下、「①年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けるか」(72.7%)、「⑥家族や友人の相談(電話を含む)にのっているか」(68.4%)、「③本や雑誌を読んでいるか」(66.5%)、「⑤友人の家を訪ねているか(家族や親戚の家は含まない)」(50.4%)と続いている。

(2) 相談の状況

問22 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談（電話を含む）をしていますか。
(1つ)

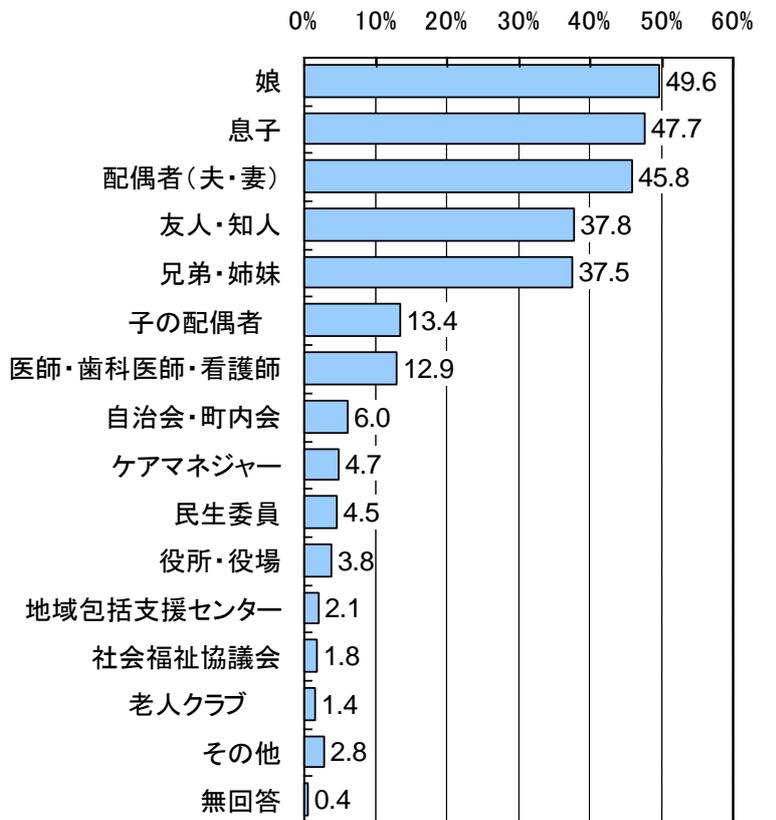


(回答該当者:1,262人)

何かあったときに、家族や友人・知人などに相談しているかについては、84.5%が「はい」と回答している。

(3) 相談相手

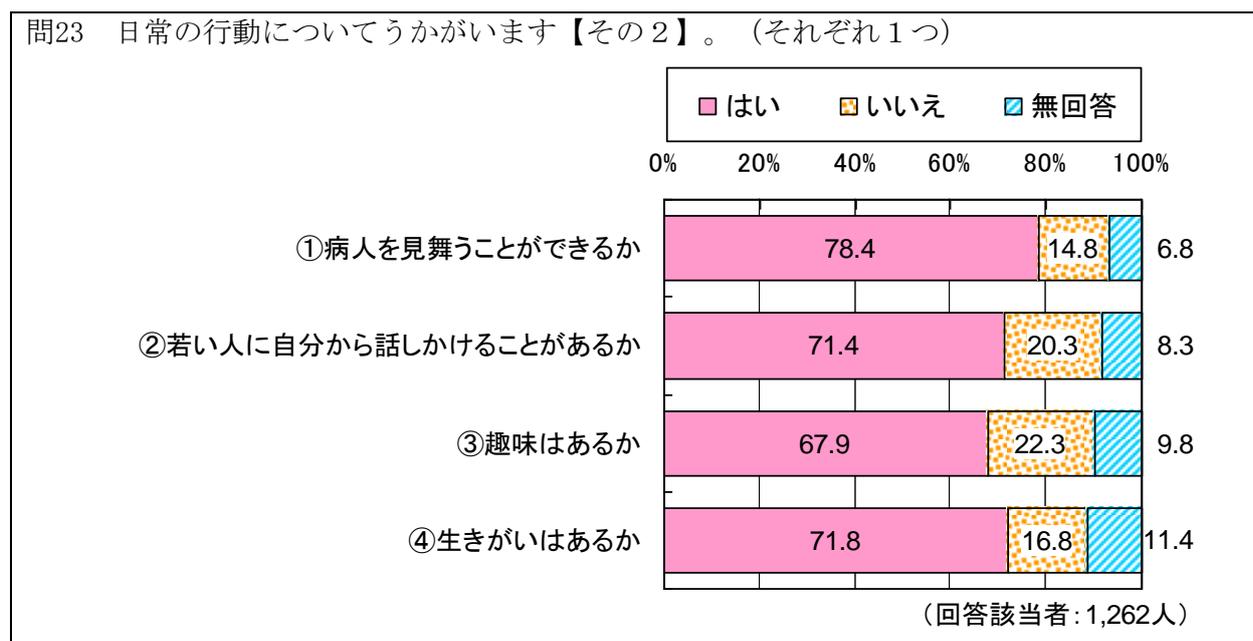
問22-1 問22で「1. はい」と回答した方にお聞きします。
相談相手を教えてください。(いくつでも)



(回答該当者:1,066人)

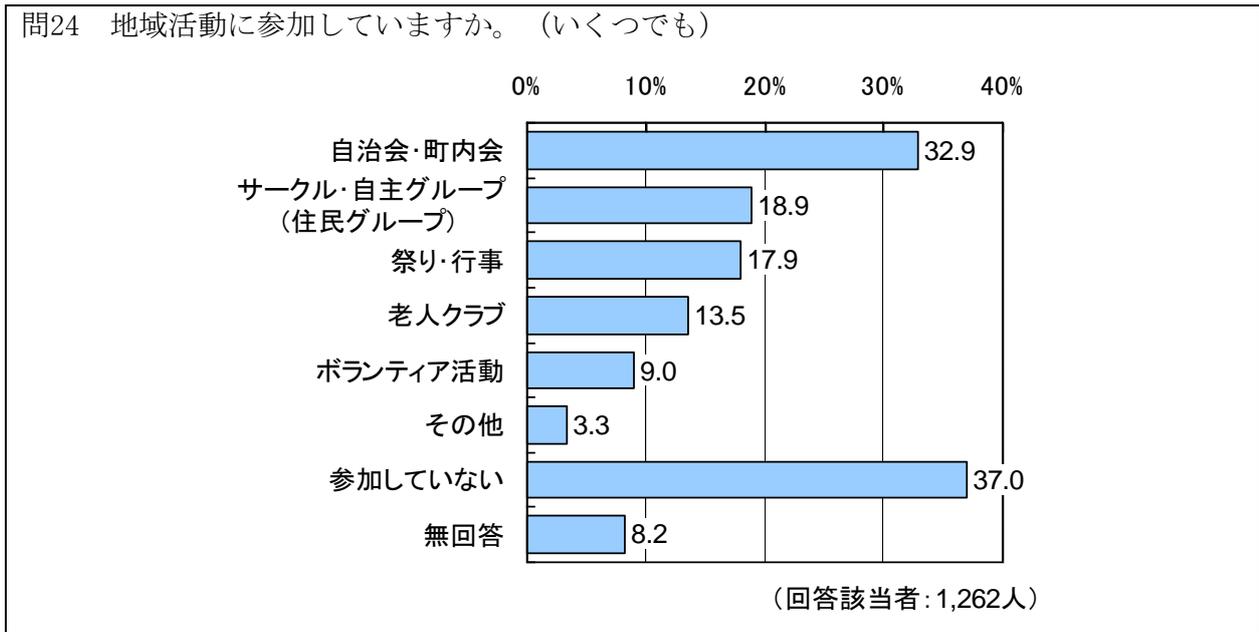
問22で何かあったときに家族や友人・知人などに相談していると回答した1,066人に相談相手を尋ねたところ、「娘」(49.6%)、「息子」(47.7%)、「配偶者(夫・妻)」(45.8%)が特に多く挙げられており、その回答割合はいずれも5割近くの数値を示している。以下、「友人・知人」(37.8%)、「兄弟・姉妹」(37.5%)、「子の配偶者」(13.4%)、「医師・歯科医師・看護師」(12.9%)などが比較的多く挙げられている。また、「その他」については、いとこなどの親戚、施設の職員という内容がみられた。

(4) 日常の行動について②



日常の行動に関する①から④までの各項目における「はい」の回答割合については、「①病人を見舞うことができるか」で78.4%の数値を示している。以下、「④生きがいはあるか」(71.8%)、「②若い人に自分から話しかけることがあるか」(71.4%)、「③趣味はあるか」(67.9%)の順となっている。

(5) 地域活動への参加状況



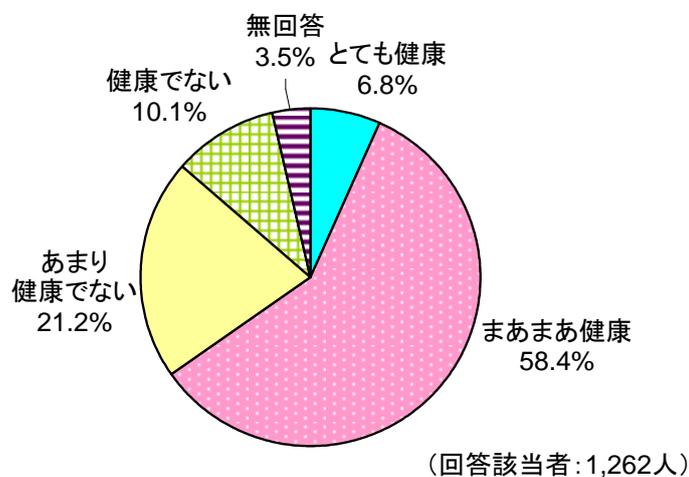
参加している地域活動については、「自治会・町内会」が32.9%で最も多く、以下、「サークル・自主グループ (住民グループ) 」(18.9%)、「祭り・行事」(17.9%)、「老人クラブ」(13.5%)、「ボランティア活動」(9.0%)の順となっている。

なお、37.0%は「参加していない」と回答している。

9 健康について

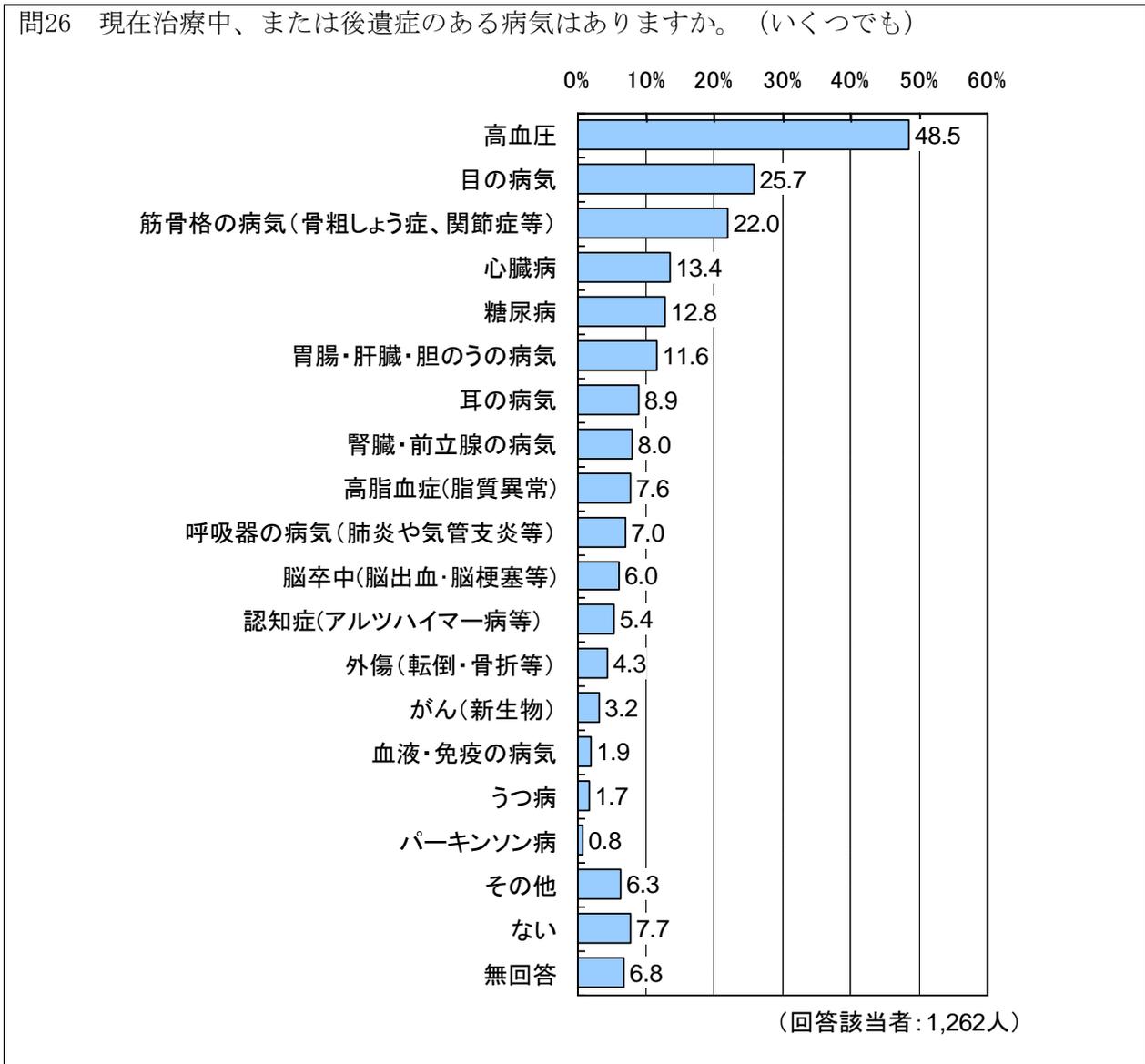
(1) 主観的健康観

問25 普段、ご自分で健康だと思いますか。(1つ)



普段、自分で健康だと思うか尋ねたところ、「まあまあ健康」が58.4%で最も多く、以下、「あまり健康でない」が21.2%、「健康でない」が10.1%、「とても健康」が6.8%となっている。大別して、健康だと思う人の割合（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）は65.2%を占めることが分かる。

(2) 治療中の病気

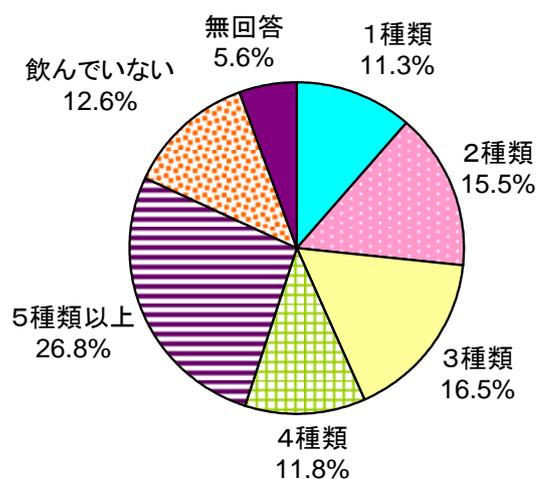


現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が48.5%と半数近くから挙げられて最も多くなっており、他を引き離している。以下、「目の病気」(25.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(22.0%)、「心臓病」(13.4%)、「糖尿病」(12.8%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(11.6%)、「耳の病気」(8.9%)、「腎臓・前立腺の病気」(8.0%)、「高脂血症(脂質異常)」(7.6%)、「呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)」(7.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(6.0%)などが比較的多く挙げられている。また、6.3%を占める「その他」については、腰痛やコレステロール、甲状腺、自律神経をはじめ多様な回答がみられた。

なお、7.7%は「ない」と回答している。

(3) 服用中の薬の種類

問27 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つ)

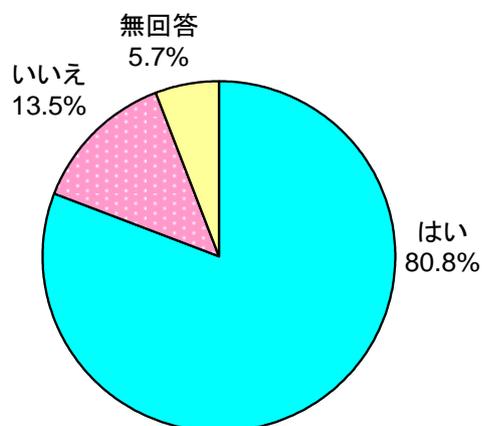


(回答該当者:1,262人)

現在飲んでいる薬の種類は、「5種類以上」が26.8%で最も多く、以下、「3種類」(16.5%)、「2種類」(15.5%)、「4種類」(11.8%)、「1種類」(11.3%)と続いている。また、12.6%は「飲んでいない」と回答している。

(4) 通院の状況

問28 現在、病院・医院(診療所・クリニック)に通院していますか。(1つ)

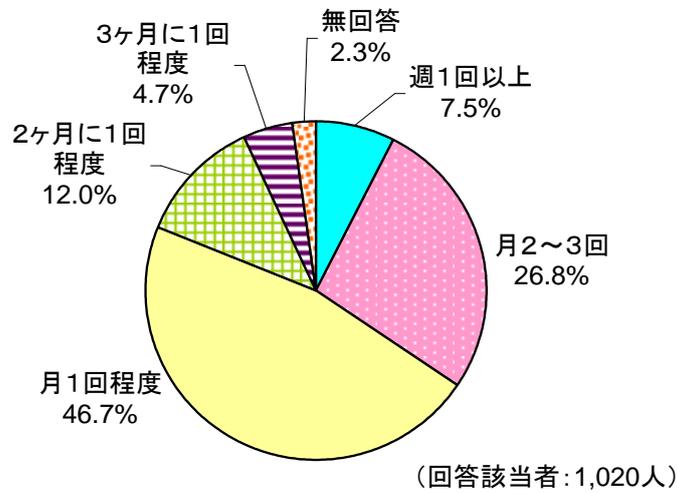


(回答該当者:1,262人)

現在、病院・医院(診療所・クリニック)に通院しているかを尋ねたところ、80.8%が「はい」と回答している。

(5) 通院の頻度

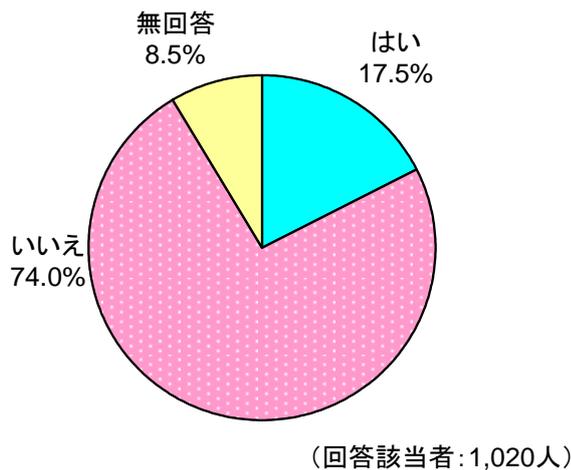
問28-1 問28で「1. はい」と回答した方にお聞きします。
その頻度は次のどれですか。(1つ)



問28で現在、病院・医院（診察所・クリニック）に通院していると回答した1,020人に、通院の頻度を尋ねたところ「月1回程度」が46.7%で最も多く、半数近くを占めている。以下、「月2~3回」（26.8%）、「2ヶ月に1回程度」（12.0%）、「週1回以上」（7.5%）、「3ヶ月に1回程度」（4.7%）の順となっている。

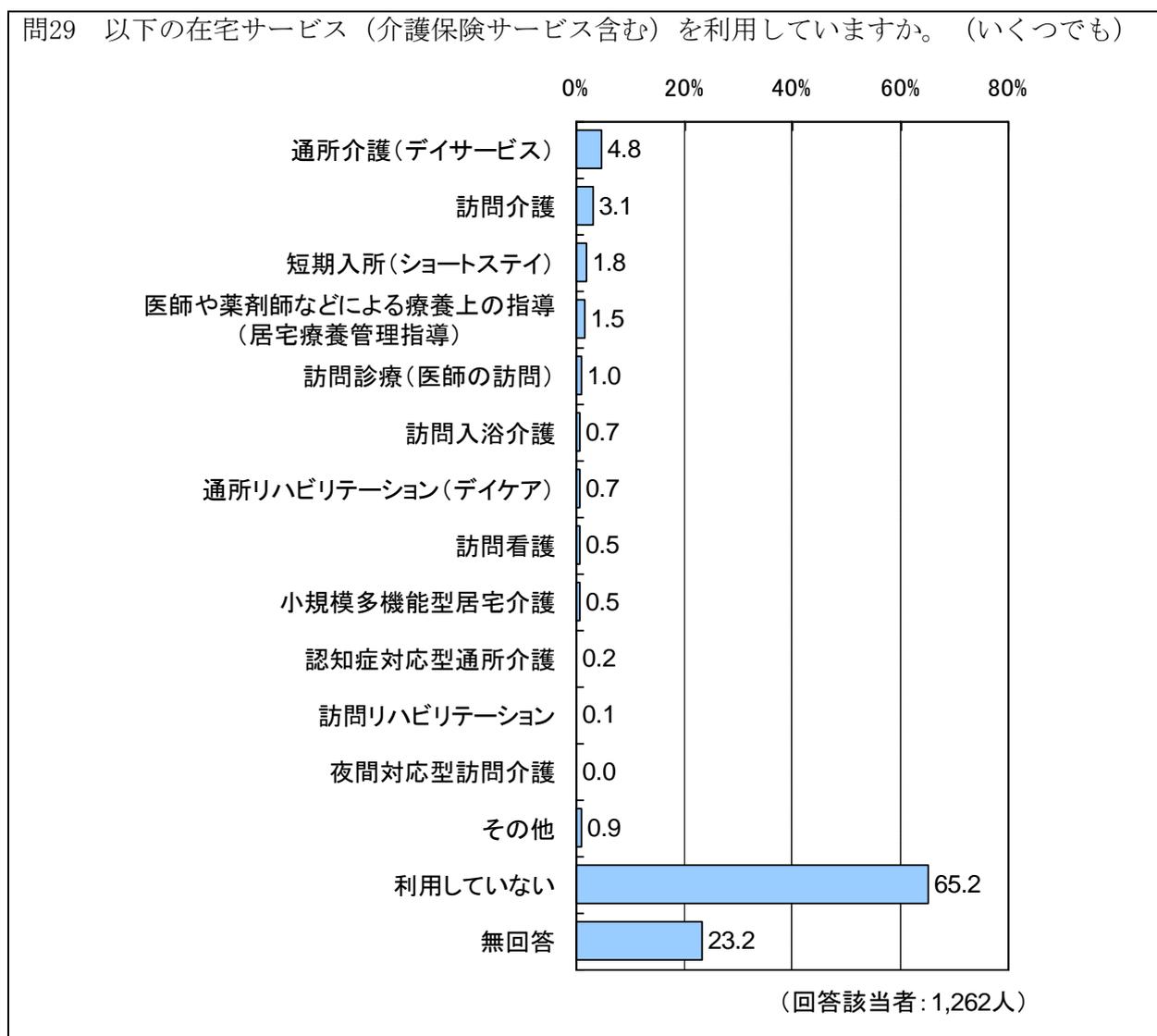
(6) 通院に介助を要するか

問28-2 問28で「1. はい」と回答した方にお聞きします。
通院に介助が必要ですか。(1つ)



問28で現在、病院・医院（診察所・クリニック）に通院していると回答した1,020人に、通院に介助を要するか尋ねたところ、17.5%が「はい」と回答している。

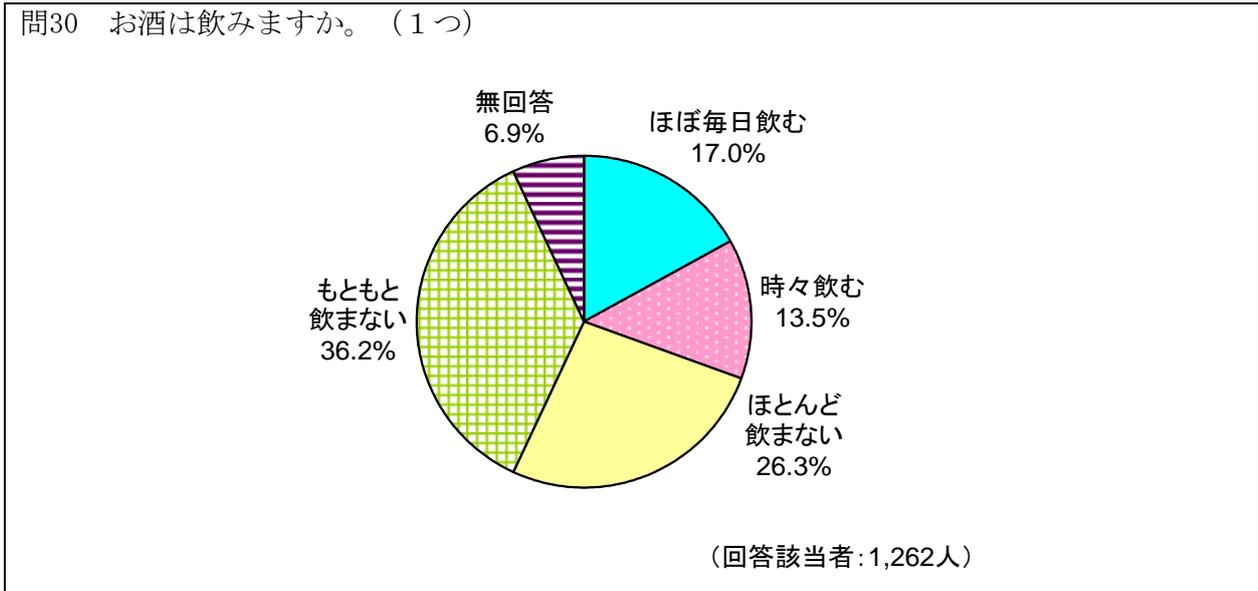
(7) 介護サービスの利用状況



利用している介護サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が4.8%で最も多く、以下、「訪問介護」（3.1%）、「短期入所（ショートステイ）」（1.8%）、「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」（1.5%）、「訪問診療（医師の訪問）」（1.0%）、「訪問入浴介護」、「通所リハビリテーション（デイケア）」（いずれも0.7%）、「訪問看護」、「小規模多機能型居宅介護」（いずれも0.5%）などの順となっている。

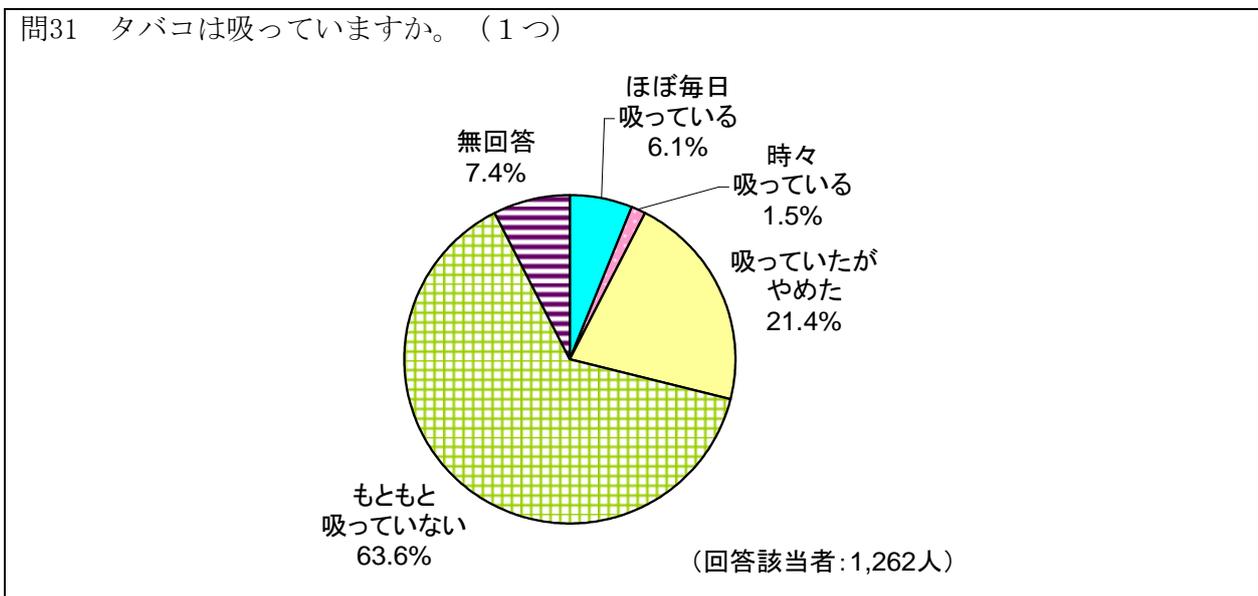
なお、65.2%は「利用していない」と回答している。

(8) 飲酒の状況



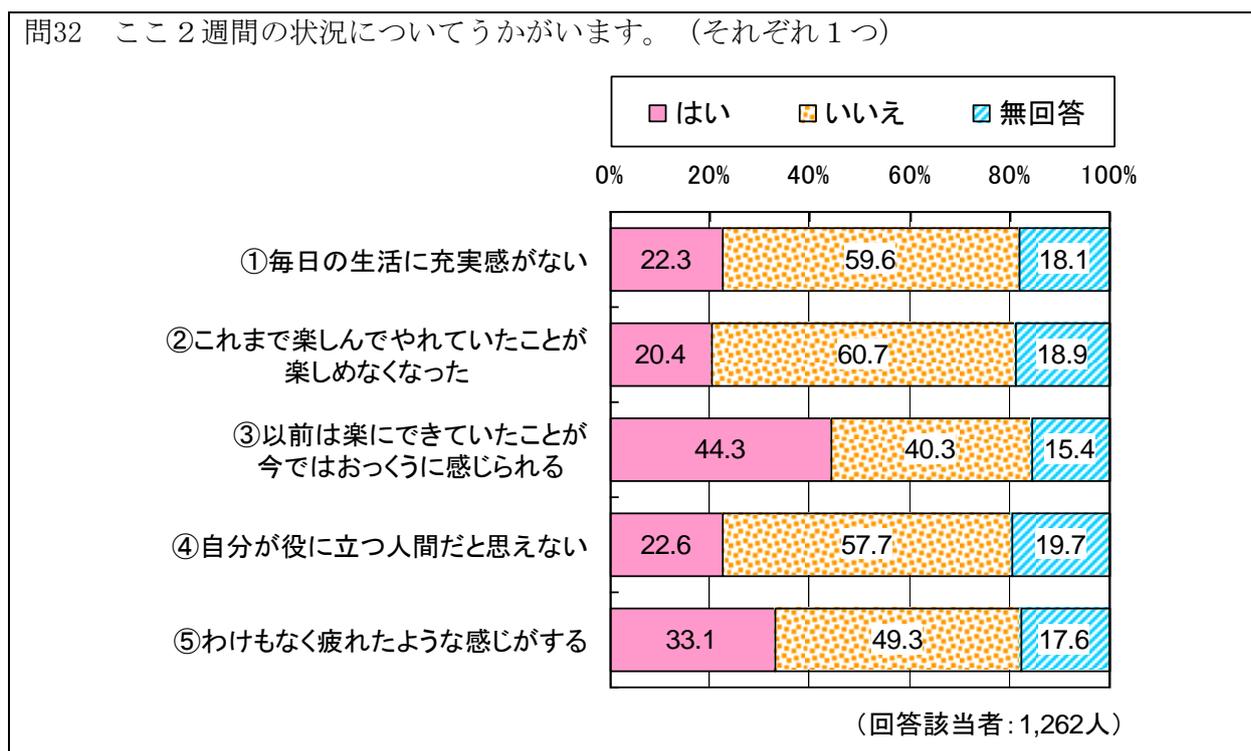
飲酒については、「もともと飲まない」が36.2%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が26.3%、「ほぼ毎日飲む」が17.0%、「時々飲む」が13.5%となっている。飲酒する割合（「ほぼ毎日飲む」及び「時々飲む」の合計）は3割程度であることが分かる。

(9) 喫煙の状況



喫煙については、「もともと吸っていない」が63.6%と過半数を占めて最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が21.4%、「ほぼ毎日吸っている」が6.1%、「時々吸っている」が1.5%となっている。喫煙者の割合（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は7.6%であることが分かる。

(10) 最近2週間の心の状況

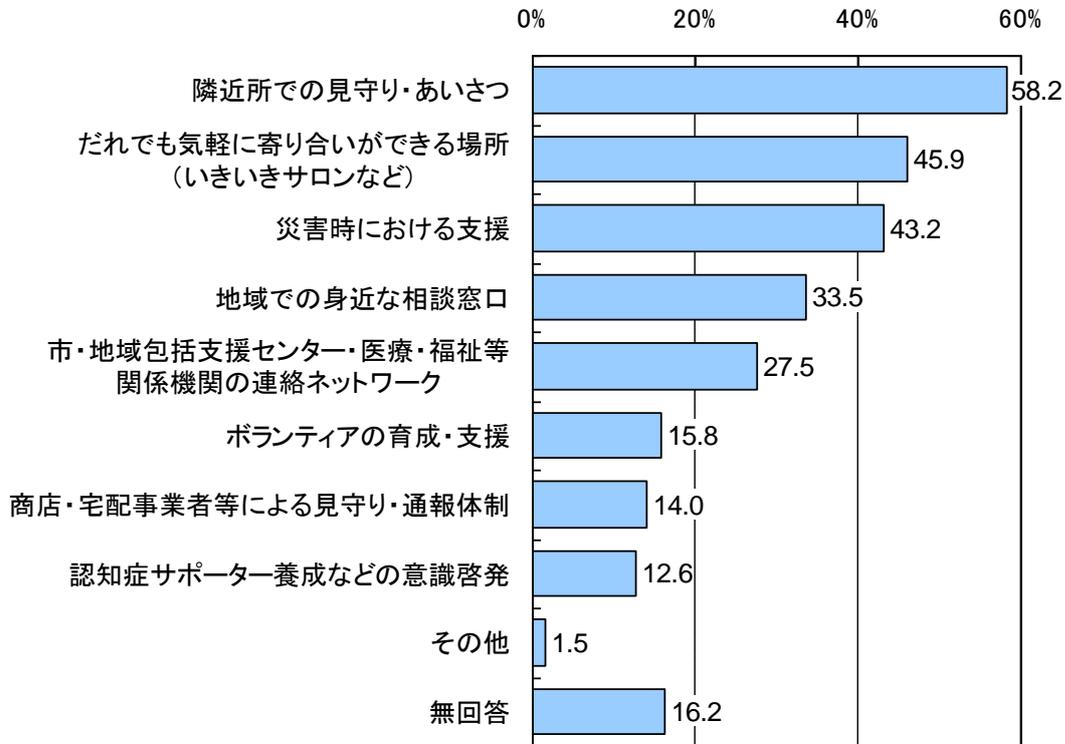


ここ2週間の状況について、「はい」の回答割合が最も高かった項目は、「③以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」でその数値は44.3%を示している。以下、「⑤わけもなく疲れたような感じがする」が33.1%、「④自分が役に立つ人間だと思えない」が22.6%、「①毎日の生活に充実感がない」が22.3%、「②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が20.4%となっている。

10 高齢者の見守り、地域福祉について

(1) 一人暮らし高齢者等を地域で見守る体制について

問33 一人暮らし高齢者や認知症の方を地域で見守る体制をつくるためには、何が必要だと思いますか。(いくつでも)

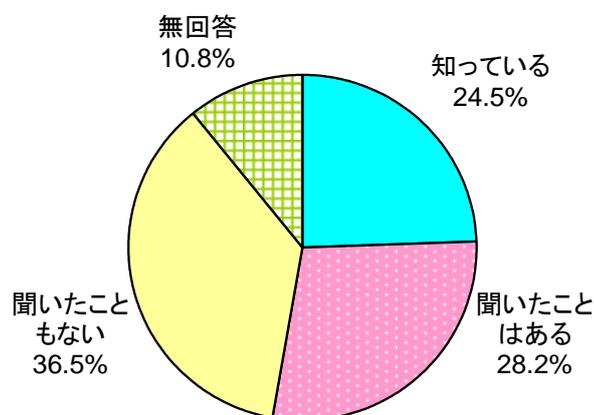


(回答該当者: 1,262人)

一人暮らし高齢者等の方を地域で見守る体制をつくるために必要なことを尋ねたところ、「隣近所での見守り・あいさつ」が58.2%で最も多く、以下、「だれでも気軽に寄り合いができる場所(いきいきサロンなど)」(45.9%)、「災害時における支援」(43.2%)、「地域での身近な相談窓口」(33.5%)などが比較的多く挙げられている。

(2) 地域包括支援センターの認知度

問34 高齢者の総合相談窓口として能代地域と二ツ井地域に設置されている、「地域包括支援センター」をご存知ですか。(1つ)

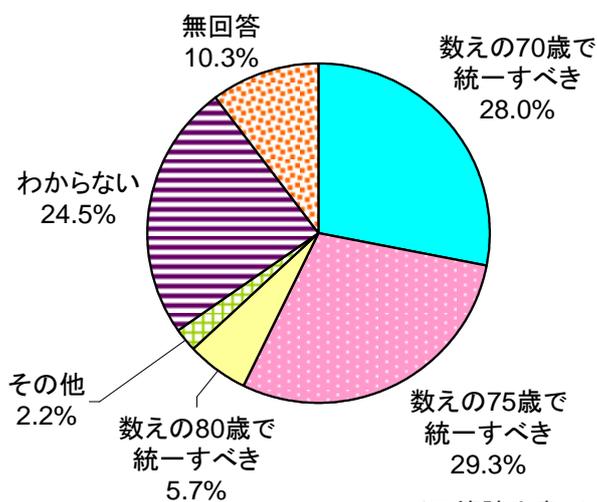


(回答該当者:1,262人)

「地域包括支援センター」を知っているかについては、「聞いたこともない」が36.5%で最も多いほか、「聞いたことはある」が28.2%、「知っている」は24.5%となっている。

(3) 能代市の初養老の対象年齢について

問35 能代市では、能代地域では初養老を数えの70歳とし、文化会館で敬老会を、二ツ井地域では初養老を数えの75歳とすることとして地区ごとに敬老式を行っていますが、今後の初養老の対象年齢についてどのように考えますか。(1つ)

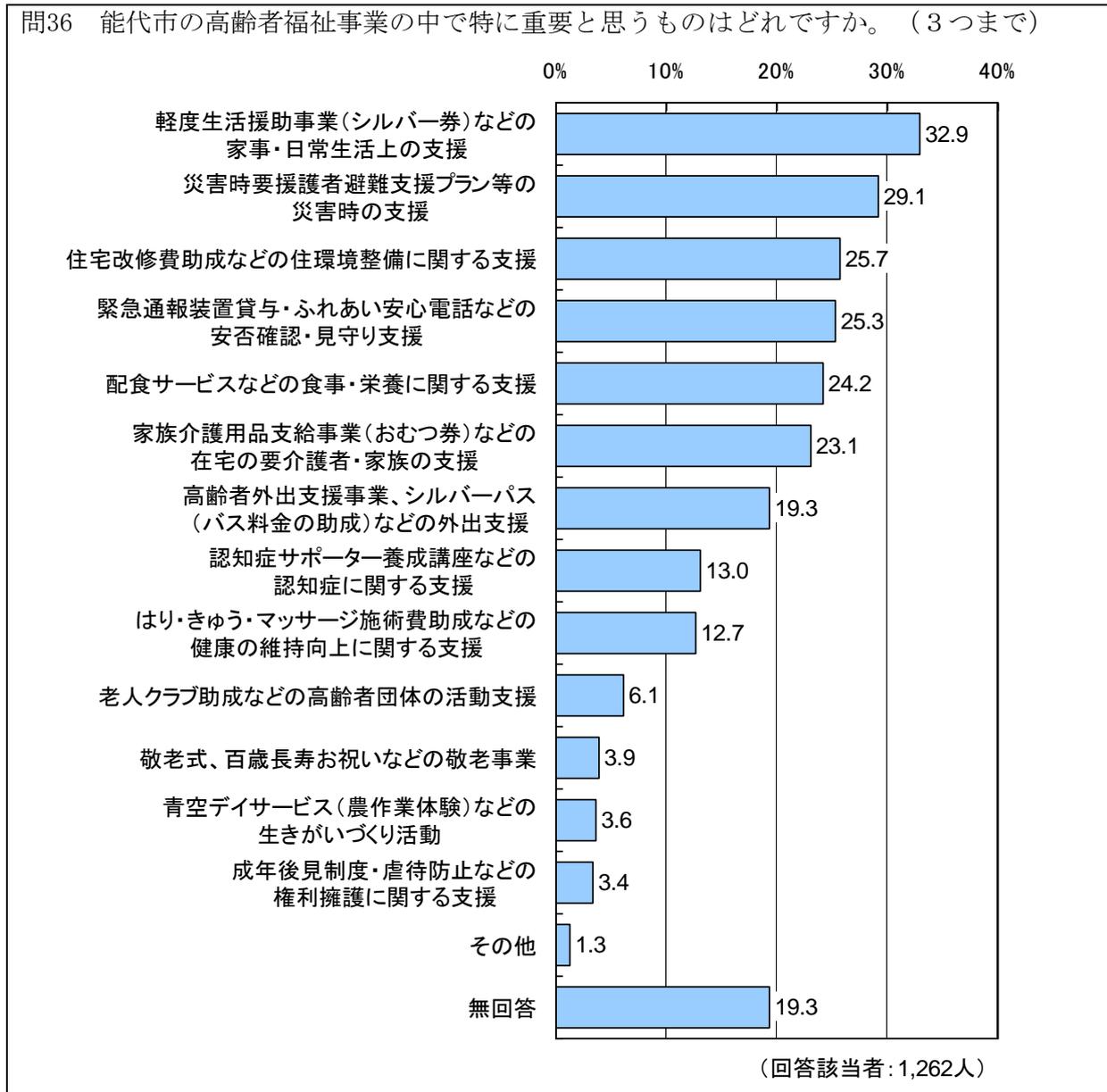


(回答該当者:1,262人)

能代市の初養老の対象年齢についてどのように考えるか尋ねたところ、「数えの75歳で統一すべき」が29.3%、「数えの70歳で統一すべき」が28.0%と、この2つの回答がほぼ同数で多く挙げられている。そのほか、「数えの80歳で統一すべき」が5.7%となっている。

なお、24.5%は「わからない」と回答している。

(4) 能代市の高齢者福祉事業について

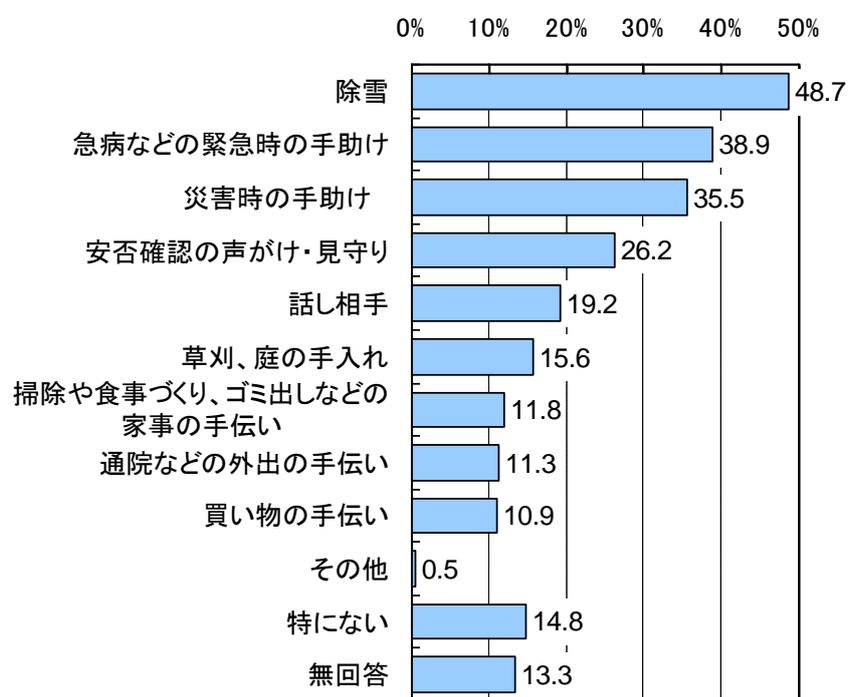


能代市の高齢者福祉事業の中で重要と思うものについては、「軽度生活援助事業(シルバー券)などの家事・日常生活上の支援」が32.9%で最も多く、以下、「災害時要援護者避難支援プラン等の災害時の支援」(29.1%)、「住宅改修費助成などの住環境整備に関する支援」(25.7%)、「緊急通報装置貸与・ふれあい安心電話などの安否確認・見守り支援」(25.3%)、「配食サービスなどの食事・栄養に関する支援」(24.2%)、「家族介護用品支給事業(おむつ券)などの在宅の要介護者・家族の支援」(23.1%)、「高齢者外出支援事業、シルバーパス」(19.3%)などが比較的多く挙げられている。

11 今後の生活についての意向

(1) 近所の方に協力してもらいたいこと

問37 今後、近所の方に協力してもらえたら助かることは何ですか。(いくつでも)

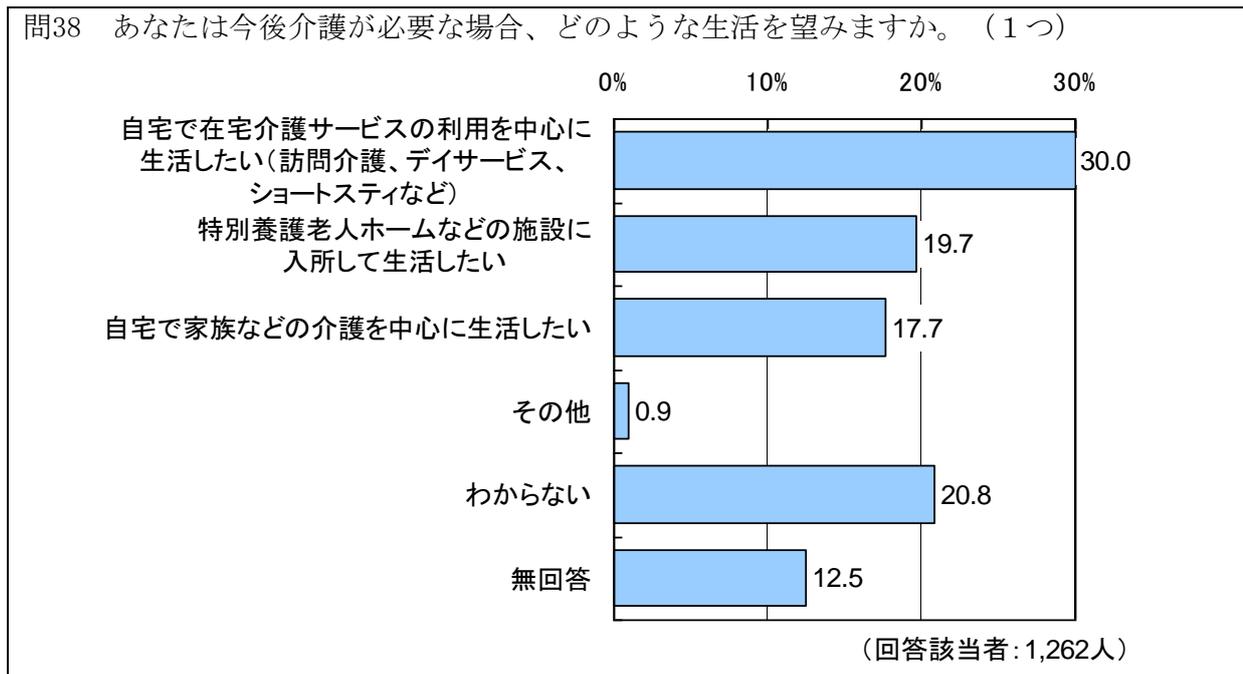


(回答該当者: 1,262人)

今後、近所の方に協力してもらえたら助かることでは、「除雪」が48.7%で最も多く、半数近くが挙げていることが分かる。以下、「急病などの緊急時の手助け」(38.9%)、「災害時の手助け」(35.5%)、「安否確認の声かけ・見守り」(26.2%)、「話し相手」(19.2%)、「草刈、庭の手入れ」(15.6%)などと続いている。

なお、14.8%は「特にない」と回答している。

(2) 介護が必要になった場合に望む生活

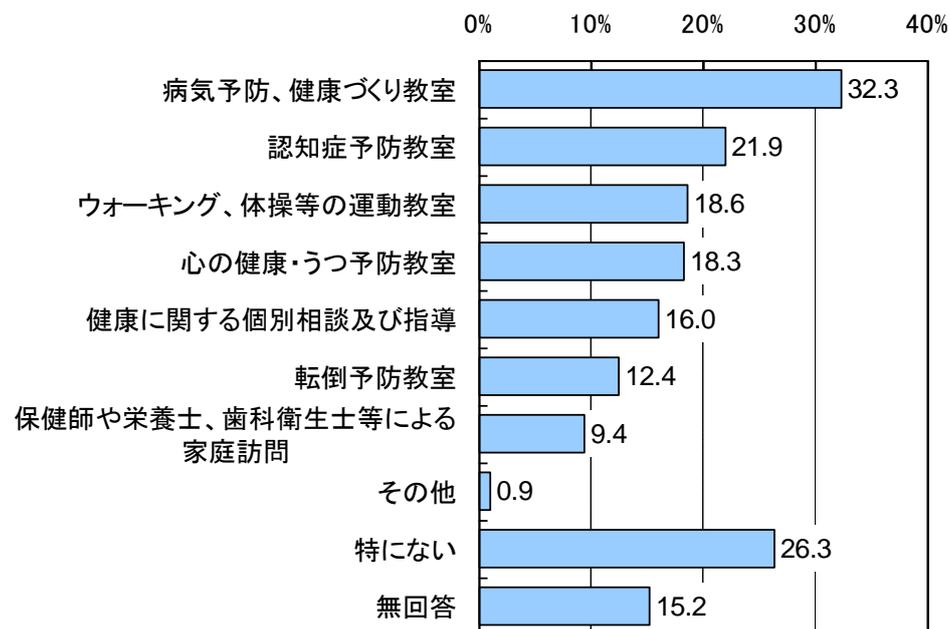


今後介護が必要な場合、「自宅で在宅介護サービスの利用を中心に生活したい（訪問介護、デイサービス、ショートステイなど）」が30.0%で最も多く、以下、「特別養護老人ホームなどの施設に入所して生活したい」（19.7%）、「自宅で家族などの介護を中心に生活したい」（17.7%）と続いている。

なお、20.8%は「わからない」と回答している。

(3) 健康づくりや介護予防のために利用したいサービス

問39 地域包括支援センターでは、要介護状態になるのを未然に防ぐため、介護予防教室を行っています。利用したいと思うものはどれですか。(いくつでも)



(回答該当者: 1,262人)

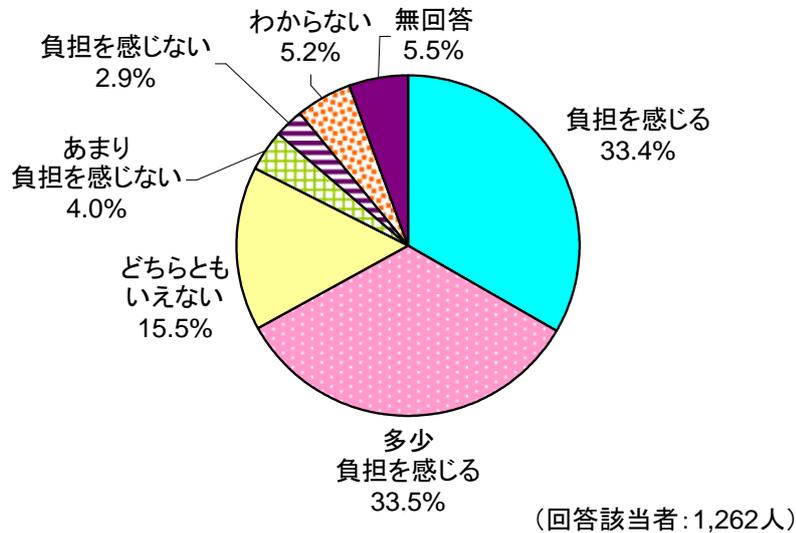
地域包括支援センターで行っている介護予防教室のうち利用したいと思うものを尋ねたところ、「病気予防、健康づくり教室」が32.3%で最も多く、次いで、「認知症予防教室」が21.9%で続いている。以下、「ウォーキング、体操等の運動教室」(18.6%)、「心の健康・うつ予防教室」(18.3%)、「健康に関する個別相談及び指導」(16.0%)、「転倒予防教室」(12.4%)、「保健師や栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問」(9.4%)などの順となっている。

また、26.3%は「特にない」と回答している。

12 高齢者福祉・介護保険制度全般について

(1) 介護保険料の負担感

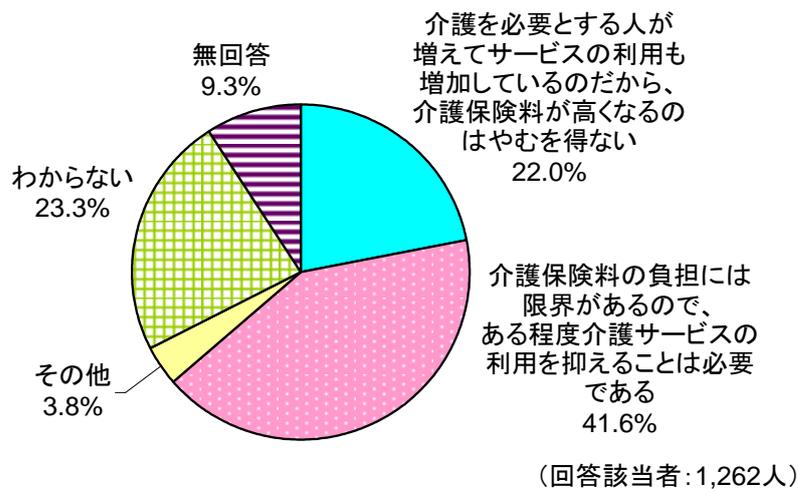
問40 能代市に納めていただいている介護保険料の負担についてどう感じますか。
(1つ)



介護保険料については、「多少負担を感じる」(33.5%)、「負担を感じる」(33.4%)がほぼ同数で多くなっており、両回答を合計した負担を感じている回答は過半数の66.9%にのぼる。一方、「あまり負担を感じない」は4.0%、「負担を感じない」は2.9%と、負担に感じていない回答は極めて少なくなっている。また、「どちらともいえない」は15.5%、「わからない」は5.2%をそれぞれ占めている。

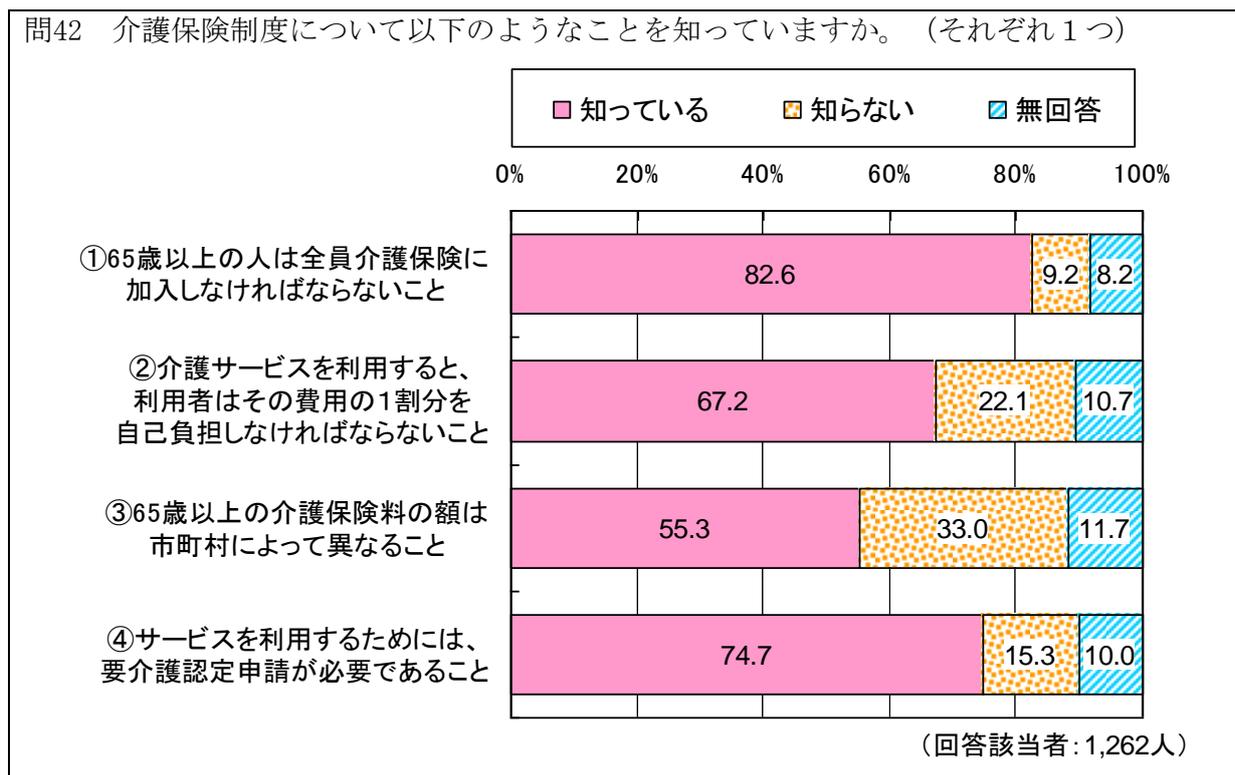
(2) 介護保険料と介護サービスの関係について

問41 介護保険料と介護サービスの関係について、あなたの考え方に近いのはどれですか。
(1つ)



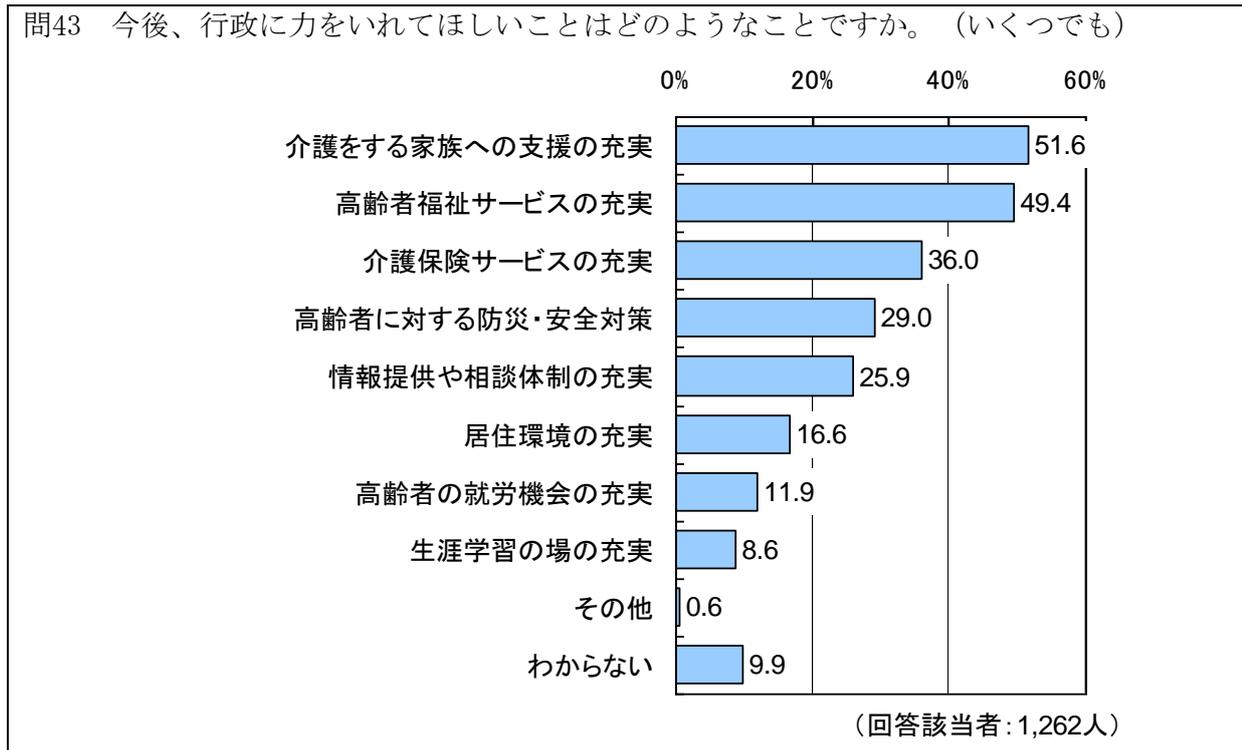
介護保険料と介護サービスの関係については、「介護保険料の負担には限界があるので、ある程度介護サービスの利用を抑えることは必要である」が41.6%で最も多く、次いで「介護を必要とする人が増えてサービスの利用も増加しているのだから、介護保険料が高くなるのはやむを得ない」が22.0%で続いている。なお、23.3%は「わからない」と回答している。

(3) 介護保険制度の認知度



介護保険制度について「知っている」割合は①から④までのいずれの内容についても5割以上となっている。その中で「知っている」割合が最も高い内容は、「①65歳以上の人は全員介護保険に加入しなければならないこと」で82.6%となっている。逆に「知っている」割合が最も低い内容は「③65歳以上の介護保険料の額は市町村によって異なること」で55.3%であった。

(4) 行政に力をいれてほしいこと



今後、行政に力をいれてほしいことを尋ねたところ、「介護をする家族への支援の充実」が51.6%で最も多く、次いで「高齢者福祉サービスの充実」が49.4%で続いており、これらはいずれも半数前後が挙げる結果となった。以下、「介護保険サービスの充実」(36.0%)、「高齢者に対する防災・安全対策」(29.0%)、「情報提供や相談体制の充実」(25.9%)などと続いている。

なお、9.9%は「わからない」と回答している。